技術にこころをこめて75年

第39回全日本総合選手権大会

湧永製薬(男子)2年ぶり10回目
大崎電気(女子)4年ぶり4回目

昭和62年度のナショナル・チャンピオンを決する第39回全日本総合選手権大会は、12月24日から27日までの4日間、東京の駒沢屋内球技場、駒沢体育館で開催された。

男子は16チームが参加、決勝は昨年と同じ湧永製薬対本田技研鈴鹿の顔合せとなったが、1点を争う厳しいせり合いにせり勝った湧永製薬が昨年の雪辱を果たし、2年ぶり10回目の優勝を遂げた。

女子は14チームが参加、昨年大学チームとして初の優勝を飾った東京女子体育大を準決勝で大接戦の末破った大崎電気が、決勝では日立栃木に大逆転で勝ち、4年ぶり4回目の優勝を飾った。

男子

1回戦

本田技研鈴鹿36〔18−7 / 18−17〕24栃の葉クラブ

〔戦評〕前半、立ち上がり10分、真砂、内藤らの速攻、ミドルシュートなどで本田技研鈴鹿が得点を重ねる。栃の葉クラブもポスト、バサイドを使った展開を図るが、バランスのとれた本田技研鈴鹿のディフェンス、GK・橋本の好守にはばまれ6対1となる。その後、本田技研鈴鹿が着々と得点を重ね18−7で前半を折り返す。後半15分、栃の葉クラブの速攻、武井、滝口のミドルシュートが決まり、24−17まで追いかけるが、地力に勝る本田技研鈴鹿が36−24でゲームを決めた。

得	〔栃の葉〕		〔本田〕	得
0	岩下	GK	大畑	0
0	高橋	GK	橋本	0
7	山下	FP	真砂	4
0	杉浦	FP	三本松	0
0	新開	FP	立木	4
6	武井	FP	尾上	2
5	薄井	FP	内藤	4
0	岸	FP	粟屋	6
5	滝口	FP	吉山	1
0	小西	FP	田口	4
1	中山	FP	山本	0
0	山本	FP	山村	11
24	(1)	PT	(1)	36

（審・上久保・北井）

トヨタ自動車29〔20−10 / 9−17〕27早稲田大

〔戦評〕前半、立ち上がり早稲田大はポストプレーなどで3点連取したが、GKの球出しミスやノーマークシュートミス、ディフェンスの甘さなどからトヨタに連続7得点を許し、トヨタペースで試合が進んだ。中でもトヨタ・川田が9点をあげる活躍ぶりを見せた。後半に入ると、両チームとも得点の取り合いになった。後半15分から早稲田がじりじりと追い上げ、3点差まで追いつくが、あと1点というところでノーマークシュートをはずし、結局前半の大差が試合を決めた。

得	〔早大〕		〔トヨタ〕	得
0	天野	GK	中西(哲)	0
0	高橋	GK	西井	0
6	甲斐	FP	香井	5
6	清田	FP	川田	11
5	小林	FP	堀江	1
0	大中	FP	酒井	0
1	大橋	FP	中西(孝)	1
6	大村	FP	乙子	1
0	小島	FP	坂口	6
3	菰原	FP	平野	4
0	坂田	FP	白坂	0
0	桑山	FP	松尾	0
27	(0)	PT	(1)	29

（審・島崎・井上）

大阪体育大22〔10−8 / 12−10〕18中村荷役

〔戦評〕大学日本一の大阪体大に中村はセット攻撃を中心によく食い下がった。大阪体大はセットで粘られて苦しんだものの、相手のミスパス、ミスシュートで速攻から得点し前半2点差。後半やや疲れのみえた中村に展開の鋭さが鈍り、そのスキに点差を開いた。残

り3分、3点差まで追い上げ盛り上げたものの、大阪体大の快勝ゲーム。

区分	荷役	得
GK	石井	0
GK	高橋	0
FP	三尾	1
FP	塚田	2
FP	北	5
FP	大木	5
FP	下戸成	2
FP	酒井	1
FP	松本	1
FP	堀戸	0
FP	池田	1
FP	坂口	0
PT		(0)
計		18

区分	大体大	得
GK	酒井	0
GK	大谷	0
FP	中村	0
FP	福田	0
FP	福村	10
FP	西岡	3
FP	梅基	0
FP	田中	1
FP	村田	0
FP	寺島	1
FP	河合	5
FP	萩原	2
PT		(0)
計		22

（審・浅井、山本）

日新製鋼 24（10―8、9―11、2―1、3―3）23 大同ク

〔戦評〕前半は大同クのベースでゲームを展開し、それに日新が追いつくといった内容であったが、残り2分フリースローを素早いモーションでシュートし10―8日新リード。後半は大同の反撃で終始リードし19―19で延長に入る。延長戦に入ると両チームともよく守りよく得点しあったが、粘りの日新が1点差で決着をつけた。大同クの気力充実した試合は素晴らしかった。

区分	大同ク	得
GK	柳川(清)	0
GK	小野	0
FP	柳川(実)	2
FP	藤中	5
FP	加藤	0
FP	中井	2
FP	松原	2
FP	大原	8
FP	更谷	4
FP	清崎	0
FP	桑幡	0
FP	鈴木	0
PT		(0)
計		23

区分	日新	得
GK	谷	0
GK	森田	0
FP	森	0
FP	武田	3
FP	西山	5
FP	高木	5
FP	甲斐	6
FP	藤井	3
FP	日野	0
FP	堀田	0
FP	藤本	2
FP	野中	0
PT		(2)
計		24

（審・浜田、小笠原）

大崎電気 40（20―5、20―12）17 自衛隊呉

〔戦評〕前半、自衛隊呉のGK・須堯が好守を見せるのだが、FPのパスミス、キャッチミスが目立ち、それを得点に結びつけた大崎が20―5と大差をつけ終了したように見えた。結局40―17で力の差を見せつけた大崎が勝利を得た。

区分	自衛隊	得
GK	須堯	0
FP	山先	0
FP	寿賀	3
FP	塩見	0
FP	岩川	0
FP	児玉	11
FP	小谷	1
FP	利光	0
FP	山根	2
FP	瀬戸	0
PT		(1)
計		17

区分	大崎	得
GK	渡辺	0
GK	矢内	0
FP	松岡	6
FP	大和田	1
FP	武田	6
FP	首藤	9
FP	中田	1
FP	山本	2
FP	越迫	1
FP	菅田	3
FP	大野	3
FP	宮下	8
PT		(0)
計		40

（審・川島、森）

大同特殊鋼 32（14―12、18―10）22 日本体育大

〔戦評〕両チームともロングを軸とした攻撃展開を行ったが、ややディフェンスに荒さがあった大同は、日体大の速攻による攻撃で前半は2点差で大同がリード。後半は、日体大の沈みぎみのディフェンスに対し、大同・高村のロングを中心にリズムを取り戻し、スコアーを伸ばしていった。

区分	日体大	得
GK	大沼	0
FP	長沢	9
FP	松尾	0
FP	斉藤	1
FP	比留	1
FP	早川	4
FP	明石	0
FP	橋本	6
FP	金井	0
FP	佐藤	1
FP	海老沢	0
PT		(4)
計		22

区分	大同	得
GK	上村	0
GK	秋吉	0
FP	田中	5
FP	内藤	1
FP	高村	8
FP	市川	0
FP	中本	0
FP	河井	0
FP	蒲生	0
FP	横浜	9
FP	佐藤	5
FP	名取	4
PT		(4)
計		32

（審・岡本、清水）

沖縄教員 36（16―10、20―12）22 トヨタ車体

〔戦評〕立ち上がり沖縄教員の早い走りと鋭いフェイントにトヨタ車体のディフェンスがほんろうされた。前半20分頃からトヨタ車体も走りと早いパスがかみ合って反撃したが、16―10と沖縄教員リードで前半終了。後半に入っても、沖縄教員のスピードと切れのある動きとパスにトヨタ車体のディフェンスは的がしぼれず、攻撃でもパスミス、沖縄教員GKのナイスキープなどで差は広がり、いいところなく敗れた。沖縄教員のけれん味のない好プレーが目立った。

区分	車体	得
GK	宮田	0
GK	村林	0
FP	河村	2
FP	長野	7
FP	蓑田	2
FP	君島	2
FP	藤長	5
FP	松井	3
FP	平野	0
FP	吉続	1
FP	井上	0
PT		(0)
計		22

区分	沖縄	得
GK	新垣(泰)	0
FP	黒島	7
FP	高良	2
FP	名嘉	3
FP	新垣(志)	0
FP	宮城	2
FP	上原	4
FP	内原	2
FP	新里	3
FP	喜舎場	1
FP	東江	12
PT		(7)
計		36

（審・菅野、半田）

湧永製薬 38（20―5、18―7）12 日川ク

〔戦評〕地力に勝る湧永は、ゲーム開始後5分で4点を連取。その後も速攻を主体に差を広げ快勝した。日川クラブも足を使い、スピードあふれる攻撃を展開したが湧永のディフェンス陣が一段上であった。両チームGKの好守が印象に残るゲームであった。

区分	日川	得
GK	菊島(功)	0
GK	辻	0
FP	武藤	4
FP	関口	0
FP	古屋	0
FP	佐藤(健)	0
FP	佐藤(茂)	0
FP	菊島(裕)	2
FP	広瀬	1
FP	窪川	0
FP	中澤	5
PT		(2)
計		12

区分	湧永	得
GK	井藤	0
GK	徐	0
FP	河原	3
FP	生駒	4
FP	玉村	9
FP	堀田	5
FP	志賀	3
FP	中川	6
FP	荷川取	0
FP	奥田	3
FP	檜原	3
FP	酒巻	2
PT		(4)
計		38

（審・酒井、島田）

2回戦

本田技研鈴鹿 32（16―3、16―9）12 トヨタ自動車

〔戦評〕トヨタ自動車のゆっくりとしたスローペースに対して、本田技研鈴鹿も同様な型で対抗した。本田技研鈴鹿の厚いディフェンス

区分	トヨタ	得
GK	中西(哲)	0
GK	西井	0
FP	香井	4
FP	川田	3
FP	堀江	0
FP	酒井	0
FP	中西(孝)	1
FP	乙子	0
FP	坂口	1
FP	平野	3
FP	白坂	0
FP	松尾	0
PT		(1)
計		12

区分	本田	得
GK	大畑	0
GK	橋本	0
FP	真砂	4
FP	藤井	1
FP	立木	4
FP	尾上	5
FP	内藤	5
FP	粟屋	3
FP	田口	1
FP	山本	2
FP	山村	4
FP	平子	3
PT		(3)
計		32

（審・岡本、清水）

のため、サイドからシュートを打たざるを得ないトヨタに対して、シュート力のある本田技研鈴鹿は自分のペースでゲームを展開した。

日新製鋼35〔15—8 20—11〕19大阪体育大

〔戦評〕パワーのあるミドルシュートで点をとる日新に対して、こまめなパスワークでポストをねらいにくい大体大との対戦となる。前半15分まで1点を争うゲームであったが、その後大体大がチャージオーバーなどのミスが目立ちはじめ日新リードで折り返しとなる。後半、始めから日新が自分のペースで試合を進め、結局力の差が出た試合となった。

〔大体大〕	得		〔日新〕	得
酒井	0	GK	谷田	0
大谷	0	GK	森田	0
中村	0	FP	森	5
福田	0	FP	武田	3
福村	3	FP	西山	5
西岡	3	FP	高木	8
梅基	2	FP	甲斐	3
田中	1	FP	藤井	6
村田	2	FP	日野	3
寺島	3	FP	藤本	1
河合	2	FP	一瀬	1
萩原	3	FP	野中	0
	(4)	PT		(1)
	19			35

（審・菅野・半田）

大崎電気30〔11—5 19—14〕19大同特殊鋼

〔戦評〕優勝候補の大崎、そして久々の復活を期する大同の闘いはゲーム開始早々から激戦となった。両チームともラフプレーぎりぎりの激しいディフェンスで前半20分までは4—3のロースコア。ここで大崎は松岡の速攻で連取、ゲームの主導権を握った。後半に入っても、大崎はGK矢内の好守で必死に追いすがる大同の反撃を振り切った。勝負所でバラエティーにとんだ攻撃パターンをもった大崎に対し、単調になり、ミスが出た大同、この差が勝敗を決めた。

〔大同〕	得		〔大崎〕	得
上村	0	GK	渡辺	0
秋吉	0	GK	矢内	0
田中	7	FP	松岡	4
内藤	1	FP	大和田	4
高村	3	FP	武田	1
市川	1	FP	首藤	6
中本	2	FP	中田	0
河井	1	FP	山本	9
蒲生	0	FP	越迫	0
横浜	1	FP	菅田	0
佐藤	1	FP	大野	0
名取	2	FP	宮下	6
	(3)	PT		(8)
	19			30

（審・島崎・井上）

湧永製薬33〔18—12 15—6〕18沖縄教員

〔戦評〕前半、両チームともよく走り接戦が続いたが、湧永のロングで差がつく。後半、玉村にマンツーをかける沖縄は大事な時にシュートミスをし、点差は広がるだけだった。しかし沖縄の速いパスワークは見事であった。

〔沖縄〕	得		〔湧永〕	得
新垣(泰)	0	GK	大城	0
		GK	井藤	0
黒島	1	FP	河原	4
高良	4	FP	生駒	1
名嘉	2	FP	玉村	8
新垣(志)	1	FP	堀田	1
宮城	0	FP	志賀	4
上原	0	FP	中川	3
内原	0	FP	内田	0
新里	1	FP	荷川取	2
喜舎場	3	FP	奥田	5
東江	6	FP	酒巻	5
	(2)	PT		(3)
	18			33

（審・浅井・山本）

準決勝

本田技研鈴鹿28〔15—9 13—15〕24日新製鋼

〔戦評〕両チームのパスワークプレーが冴え、迫力のあるシュートの応酬で前半中盤まで盛り上がるが、総合力に安定感のある本田がリードで前半終了。後半、日新も必死に追い上げ、50分には3点差までつめるが田口の好リード、立木の確実なシュートでそれ以上差をつめることができず、本田の快勝に終る。

〔日新〕	得		〔本田〕	得
西川	0	GK	大畑	0
森田	0	GK	橋本	0
森	0	FP	真砂	1
武田	3	FP	三本松	1
西山	3	FP	藤井	0
高木	6	FP	立木	6
甲斐	1	FP	尾上	4
藤井	8	FP	内藤	1
日野	0	FP	粟屋	5
堀田	1	FP	田口	5
藤本	2	FP	山本	0
野中	0	FP	山村	5
	(3)	PT		(3)
	24			28

（審・川島・森）

湧永製薬21〔10—11 11—4〕大崎電気

〔戦評〕立ち上がり動きのよくない大崎に対し、湧永はポスト、サイド、速攻といいペースで6—3とリード、前半中盤から、大崎本来のスピーディーな走りの速攻が出はじめ11—10と逆転した。後半大崎はパスミスを連発、湧永が5連続得点し15—11。このあとの大崎は若さを暴露、立ち直るどころかさらにミスを重ね湧永を楽にさせた。大崎GK矢内のファインプレーにコートプレーヤーが全くくいることができなかった。大げさに言えば、前半立ち上がり宮下のロングをみごとにキャッチした湧永GK井藤のプレーが大崎をくるわせたといったらいいすぎだろうか。

〔大崎〕	得		〔湧永〕	得
渡辺	0	GK	井藤	0
矢内	0	GK	徐	0
松岡	3	FP	河原	3
大和田	1	FP	生駒	1
武田	0	FP	玉村	7
首藤	2	FP	堀田	1
中田	1	FP	志賀	1
山本	7	FP	中川	2
越迫	0	FP	荷川取	1
菅田	0	FP	奥田	2
大野	0	FP	楢原	0
宮下	1	FP	酒巻	3
	(5)	PT		(3)
	15			21

（審・菅野・半田）

決勝

湧永製薬18〔9—8 9—9〕17本田技研鈴鹿

〔戦評〕湧永×本田戦は、高さとパワーに勝る湧永対スピードとテクニックに勝る本田の対決は、前半たんたんとゲームが進む中で、

〔本田〕	得		〔湧永〕	得
大畑	0	GK	井藤	0
橋本	0	GK	徐	0
真砂	1	FP	河原	0
三本松	0	FP	生駒	1
藤井	0	FP	玉村	7
立木	2	FP	堀田	0
尾上	2	FP	志賀	4
内藤	2	FP	中川	1
粟屋	2	FP	荷川取	1
田口	2	FP	奥田	2
山本	0	FP	楢原	1
山村	6	FP	酒巻	1
	(4)	PT		(1)
	17			18

（審・上久保・北井）

中盤より湧永の高さがやや勝り、ペースをつかみ9－8で終る。後半に入り、本田は田中、栗屋を中心にしてよく動き、シュートを放つが、GK井藤の好守にあい1点を争う好ゲームとなったが、わずかに玉村、生駒、志賀の高さが勝り本年度のナショナルチャンピオンに輝いた。

女子

1回戦

ジャスコ 31（13－8、18－14）22 北国銀行

〔戦評〕前半、両チームともに速攻、ポスト、サイドと多彩なプレーを展開し、シーソーゲームの連続。20分過ぎジャスコがペースをつかみ4点差で前半終了。後半、北国が速い動きでディフェンスをゆさぶり追い上げようとしたが、ジャスコは固い守りからの速攻で着実に追加点をあげ2回戦に進んだ。

	得	〔ジャ〕	〔北国〕	得
GK	0	小深田	川北	0
	0	吉田	木戸	0
FP	1	服部	中川	6
	3	佐々木	林	4
	4	石田	丹後	4
	3	近藤	松下	0
	9	渡辺	川崎	2
	0	常石	塙	0
	0	武田	北川(静)	0
	10	川井	金	4
	0	東出	上田	1
	1	今井	北川(眞)	1
	31			22
PT	(2)			(4)

（審・川島 森）

日本ビクター 26（15－11、12－6）18 日本体育大

〔戦評〕ともに攻防激しく、開始8分間ノーゴール、18分過ぎ2－2、以後ともによく走り前半11－6と日本ビクターリード。後半、必死に日体大は追い上げるが、日本ビクターは切れ味の鋭いカットインプレーから積極的に打ち込み余裕をもって快勝する。

	得	〔日ビ〕	〔日体〕	得
GK	0	小口	安室	0
	0	高橋	松永	0
FP	8	武藤	長澤	1
	7	長田	梅原	0
	2	枝川	江原	1
	4	下條	黒沼	1
	1	平松	山口	1
	2	根本	市来	5
	0	太田	大間	0
	1	中村	新田	3
	0	山之内	小島	4
	2	工藤	小林	1
	27			17
PT	(0)			(0)

（審・菅野 半田）

大崎電気 28（11－11、17－10）21 FCC

〔戦評〕前半、大崎電気・尹のロングカット及び多彩な攻撃で得点し加点していく、一方FCCもよく走り攻撃するが、キャッチミス、パスミスなどでせっかくのチャンスが生かせない場面が多くあった。後半、大崎電気のディフェンスが乱れ、FCCが点差をつめたが及ばなかった。

	得	〔大崎〕	〔FCC〕	得
GK	0	大西	上野	0
	0	佐々木	沢辺	0
FP	0	森田	今村	4
	3	松尾	松田	4
	2	須永	藪田	4
	4	石井	妹川	2
	3	徳渕	田中	2
	4	金	尾木	4
	9	尹	田口	0
	3	江口	橋本	1
	0	前川		
	0	鈴木		
	28			21
PT	(4)			(2)

（審・　）

筑波大 28（9－14、14－9、3－2、2－1）26 シャトレーゼ

〔戦評〕筑波はディフェンスでよく頑張り15分まで同点、一方、シャトレーゼはよく動きジリジリと点差を広げ、5点差で前半終了。後半、筑波はよく走り残り10分で2点差にし、一進一退をしばらく続け、残り2分で同点に追いつき延長戦に入る。筑波GKの再三の好守にFPも波にのり2点差で勝った。シャトレーゼは単調な攻撃になったのが敗因のようである。

	得	〔筑波〕	〔シャ〕	得
GK	0	吉村	丸山	0
	0	山下	高原	0
FP	4	中嶋(華)	星野	0
	0	稲垣	嶋崎	1
	1	河野	海道	8
	3	中嶋(恵)	松沢	2
	8	三宅	小林	0
	5	相川	小野寺	2
	1	和田	大木	1
	2	磯山	小沼	0
	0	大塚	山岸	3
	4	林	季	9
	28			26
PT	(2)			(4)

（審・上久保 北井）

大和銀行 30（13－8、17－8）16 京都教員女子

〔戦評〕前半、立ち上がりから国体優勝チームの大和銀行は、好ディフェンスから速攻を連続させ、京都の森山らのシュートで頑張るが、初ゴールが残り16分と苦しく前半は17－8で折り返した。後半も大和銀行が走り、必死に頑張る京都教員を振り切った。

	得	〔大和〕	〔京都〕	得
GK	0	増見	畑添	0
	0	坂口		
FP	5	丸田	矢野	3
	0	鈴木	森山	4
	5	赤瀬	池上	4
	1	上村	藤田	5
	9	小池	谷坂	0
	6	藤本	渡辺	0
	1	渡辺	大野	0
	1	畏川	山戸	0
	0	木瀬		
	2	貞本		
	30			16
PT	(3)			(0)

（審・島崎 井上）

日立栃木 38（19－7、19－6）13 あゆみクラブ

〔戦評〕日立・尾苗のロングシュートで1点をあげてから、速攻、ポストシュート等で連続5得点をしたが、あゆみクラブも相手のスキをついたシュートで3連続得点、しかし、総合力で勝る日立は、10分過ぎから足の止まってしまったあゆみクラブを一方的に突き放し

	得	〔日立〕	〔あゆみ〕	得
GK	0	梅津	木村	0
	0	葛生		
FP	5	前田	小田	1
	7	井沢	山下	1
	4	山口	伊勢	3
	1	菅原	石田	1
	3	山岸	寺沢	2
	5	尾苗	宮崎	3
	3	中村	池内	0
	1	繁在家	鷲野	1
	2	新井	三木	0
	7	岡田	金森	1
	38			13
PT	(1)			(0)

（審・岡本 清水）

た。日立・前田のフットワークが大変よかった。

2回戦

東京女子体育大 23（14―7、9―13）20 ジャスコ

〔戦評〕優勝を意識してか東女体大は、チームのリズムをつかむことができずミスが目立ったのに対して、ジャスコは速攻を中心にスコアを伸ばし、4点リードで前半を終了した。後半に入り、両チームともポストプレーを中心にスコアをあげてきたが、東女体大の金、柳のコンビプレーにより、着実に点をあげていった東女体大が勝利を飾った。

得	〔ジャ〕		〔東女〕	得
0	小深田	GK	野寺	0
0	吉田	GK	村山	0
0	服部	FP	鈴木	6
2	佐々木	FP	内田	0
3	石田	FP	北島	2
4	近藤	FP	後藤	0
8	渡辺	FP	松本	0
0	常石	FP	金	4
0	武田	FP	柳	6
3	川井	FP	藤井	4
0	東出	FP	佐藤	0
0	今井	FP	伝法谷	1
20	(2)	PT	(5)	23

（審・川島　森）

大崎電気 25（12―8、13―12）20 日本ビクター

〔戦評〕大崎のエース尹をマンツーマンでマークする作戦の日本ビクターは、開始直後から長田、武藤を中心に積極的に打ち込み場内をわかす。前半終了間際、大崎2点のリード。後半に入っても、日本ビクターの勢いは劣えず、全く互角にわたり合い好ゲームとなった。40分過ぎ、日本ビクターの退場を機に点差を広げた大崎が、その後も主導権を握って逃げ切った。

得	〔日ビ〕		〔大崎〕	得
0	小口	GK	大西	0
0	高橋	GK	佐々木	0
4	武藤	FP	森田	1
9	長田	FP	松尾	1
0	枝川	FP	須永	0
2	下條	FP	石井	4
0	平松	FP	徳渕	2
2	根本	FP	金	5
1	太田	FP	尹	12
0	松井	FP	江口	0
0	山之内	FP	前川	0
2	工藤	FP	鈴木	0
20	(3)	PT	(3)	25

（審・酒井　島田）

大和銀行 27（17―14、10―9）23 筑波大

〔戦評〕スタートから両チームとも歯切れのいいスピーディーなプレーを展開、フリースローから丸田のロングが正確に決まった大和が1点リードで前半終了。

後半も一進一退の激しい攻防を展開、筑波大の3―2―1、あるいはプレスマンツーのディフェンスに苦しみながらも、ミスの少なかった大和が要所で確実に得点し、押し切った。

得	〔筑波〕		〔大和〕	得
0	吉村	GK	高浜	0
0	山下	GK	増美	0
3	中嶋(華)	FP	丸田	8
0	稲垣	FP	鈴木	0
1	河野	FP	赤瀬	3
3	中嶋(恵)	FP	上村	5
3	三宅	FP	小池	3
2	相川	FP	藤本	6
4	和田	FP	渡辺	2
2	磯山	FP	裴川	0
0	大塚	FP	木瀬	0
4	林	FP	貞本	0
22	(1)	PT	(3)	27

（審・浜田　小笠原）

日立栃木 22（14―7、8―9）16 立石電機山鹿

〔戦評〕手のうちを知りつくした両チームは、前半から多彩な攻撃を仕掛けるが、GKの好守にはばまれ一進一退をくり返し、野嶋の2連続ゴールで1点差をつけて立石がリードした。後半開始10分後、1人退場中に2点リードされていた日立は、ディフェンスをよく守り、残り6分からボールがよく回り速攻、ロング、ポストと選手が動き回り次々と得点を重ね、逆転されて緊張の糸が切れた立石に逆転勝ちした。

得	〔立石〕		〔日立〕	得
0	岡本	GK	岡本	0
0	竹下	GK	葛生	0
0	山口	FP	前田	4
0	山内	FP	井沢	5
1	江口	FP	山口	1
1	横田	FP	菅原	0
3	野嶋	FP	山岸	4
2	田中	FP	尾苗	2
4	武津	FP	中村	2
3	中山	FP	神永	0
0	毛利	FP	新井	0
2	橋本	FP	岡田	4
16	(3)	PT	(0)	22

（審・上久保　北井）

準決勝

大崎電気 23（14―14、9―8）22 東京女子体育大

〔戦評〕気迫十分の両チームは、共に韓国選手を中心に激しい攻防を展開し前半は1点差。後半、たえず先手をとり尹のロングシュートなどで40分大崎4点リード。ここで攻撃のエース尹が失格（3回目の退場）、残り20分大崎がリードを保てるかどうかに興味がもたれたが、石井、徳渕らがよくリードし、わずかのところで大崎が逃げ切った。

得	〔東女〕		〔大崎〕	得
0	野寺	GK	大西	0
0	村山	GK	佐々木	0
5	鈴木	FP	森田	0
0	内田	FP	松尾	5
2	北島	FP	須永	0
0	後藤	FP	石井	1
0	松本	FP	徳渕	4
8	金	FP	金	2
3	柳	FP	尹	7
3	藤井	FP	江口	4
0	佐藤	FP	前川	0
1	伝法谷	FP	鈴木	0
22	(9)	PT	(0)	23

（審・島崎　井上）

日立栃木 29（17―10、12―13）23 大和銀行

〔戦評〕一進一退のゲーム展開で両チームとも気力あふれるプレーもあるが、緊張感のためか時々ミスで相手チームにボールをとられ、得点に結びつくケースがあった。特に大和銀行のサイドからのシュートがよく決まり1点リードで前半を終了。後半に入り、日立栃木の動き、ディフェンスが良く、特に前田、尾苗のロングシュートが決まり出し、日立栃木のリードとなり、後半終始日立栃木のペースで勝利を得た。準決勝にふさわしい好ゲームであった。

得	〔大和〕		〔日立〕	得
0	高浜	GK	岡本	0
0	増見	GK	葛生	0
6	丸田	FP	前田	8
1	鈴木	FP	井沢	3
2	赤瀬	FP	山口	1
2	上村	FP	菅原	0
6	小池	FP	山岸	6
1	藤本	FP	尾苗	8
2	渡辺	FP	中村	0
2	裴川	FP	神永	0
0	木瀬	FP	新井	0
1	貞本	FP	岡田	3
23	(3)	PT	(3)	29

（審・岡本　清水）

決勝

大崎電気 27（17―8、10―17）25 日立栃木

〔戦評〕大崎対日立の全日本初対決は、前半大崎は主砲・尹にボールを集め攻撃をしかけるが、日立は前田を中心によく守り、逆に日立は素早い動きで大崎ディフェンスをかわし、前半を17―10と大量リードで終了。

しかし、後半入るや大崎主砲・尹の連続ゲット、金のテクニックで、後半10分までに7点を逆転し大崎ペース。しかし燃える日立も懸命にがんばり、白熱した好ゲームとなった。だが、日立は勝負の山場で大崎の2人に点を加えられ、敗れた。

得	〔日立〕		〔大崎〕	得
0	岡本	GK	大西	0
0	葛生	GK	佐々木	0
4	前田	FP	森田	0
2	井沢	FP	松尾	0
4	山口	FP	須永	0
0	菅原	FP	石井	1
8	山岸	FP	徳渕	1
4	尾苗	FP	金	8
1	中村	FP	尹	16
0	神永	FP	江口	1
0	新井	FP	前川	0
2	岡田	FP	鈴木	0
25	(4)	PT	(2)	27

（審・岡本　清水）

第30回（女子23回）全日本学生選手権大会

（男子）大阪体育大、（女子）東京女子体育大が優勝

第30回（女子23回）全日本学生選手権大会は、11月10日から15日まで、東京多摩市総合体育館を中心に３会場で熱戦をくり広げた。

今大会は、30回の記念大会ということで例年より多い男子32校、女子16校で行なわれた。

結果は、男子は大阪体育大が、２年ぶり３回目、女子は東京女子体育大が２年連続７回目の優勝を飾った。

男子

〈１回戦〉

早　大 41（19－10、22－4）**14 大阪市大**

〔戦評〕両チーム共初戦ということで少し緊張気味だったが、途中からは早大の一方的な試合で、大阪市立大は力を出し切らないうちに終ってしまったようだ。

〔大市大〕		得
GK	井上	0
	東	0
FP	西村	2
	上田	0
	北楯	1
	清水	1
	大坪	2
	後藤	1
	楠	1
	鈴木	1
	平田	0
	出原	5
PT	(1)	14

（審・浅田　飼沼）

〔早大〕		得
GK	天野	0
	高橋	0
FP	坂田	7
	桑山	5
	佐藤	3
	杣山	1
	中村	3
	甲斐	6
	清田	7
	大中	1
	大橋	7
	大村	1
PT	(2)	41

金沢大 26（17－13、9－10）**23 中部大**

〔戦評〕前半、手嶋のシュートにより金沢大が２－０とリードしたが、両者互いに点を許さず、金沢大のミスを速攻につないだ中部大が１点をリードした。しかし、後半に入り、逆に中部大のミスを確実に逆速攻につないだ金沢大が３点差で逃げ切った。

〔中部大〕		得
GK	水谷	0
	島内	0
FP	宜保	5
	津波古	2
	塩坂	5
	高橋	0
	菅	0
	長嶺	6
	坂	1
	同前	0
	植村	4
	興儀	0
PT	(0)	23

（審・山本　浅井）

〔金沢大〕		得
GK	北村	0
	桜村	0
FP	手島	6
	島多	3
	澤田	8
	西村	0
	富山	3
	中井	2
	徳前	4
	田中	0
	久保田	0
PT	(1)	26

東京学芸大 30（13－10、17－8）**18 松山商科大**

〔戦評〕大会１日目ということで選手は少し緊張していたようだったが、地力に勝る東京学芸大が、スタートから着々と得点を重ね、初戦を突破した。

〔松商大〕	得		〔東学大〕	得
福島	0	GK	井松	0
狩野	0	GK	田町	0
門屋	2	FP	島津	7
佐伯	1	FP	本山	4
岡田	1	FP	田森	0
織田	3	FP	瀬川	0
加藤	5	FP	橋大	7
白石	6	FP	村岡	2
下河	0	FP	藤武	0
市川	0	FP	口野	5
砂田	0	FP	車花	4
林	0	FP	藤斉	1
PT	(4) 18		PT	(0) 30

（審・中山、大出）

大阪教育大33〔18—11、15—11〕**28北海道大**

〔戦評〕大阪教育大は、北海道大のミスを確実に速攻につなぎ、両サイドシュートや前田のロングシュートでリードした。北海道大も斉木のミドルシュートで差を縮めるが、ディフェンスの甘さに課題のある試合であった。

〔北大〕	得		〔大教大〕	得
千葉	0	GK	日森	0
小西	0	GK		
金子	2	FP	岸本	5
三浦	7	FP	秦	0
赤川	3	FP	中島	1
岡	3	FP	茶谷	6
斉木	8	FP	浦山	0
柏崎	3	FP	前田	6
奥田	0	FP	山崎	5
中尾	0	FP	隅	0
南雲	0	FP	古角	0
岡	2	FP	松本	10
PT	(1) 28		PT	(3) 33

（審・飼沼、浅田）

日大30〔16—12、14—11〕**23天理大**

〔戦評〕前半5分までは両チーム得点が入らず緊迫したゲームであったが、その後シーソーゲームで日大が3点リードして前半を終了。後半に入り、日大が確実に点を取り、そのまま逃げ切った。

〔天理大〕	得		〔日大〕	得
岩上	0	GK	堀江	0
		GK	木明	0
北條	0	FP	吉見	5
小林	0	FP	堀川	3
畑	7	FP	野平	1
湊	3	FP	春木	2
門川	2	FP	田子	4
竹下	6	FP	大藪	0
金芳	1	FP	雨宮	2
森本	3	FP	小河原	4
		FP	山田	1
		FP	丹羽	8
PT	(0) 23		PT	(0) 30

（審・山本、浅井）

明大30〔17—14、13—8〕**22久留米工大**

〔戦評〕久留米工大のミスを確実に決め、常にリードを保った明大が岡野のロングシュートなどで前半を5点差で終る。結局、松本の再三のサイドシュートなどで明大が勝利を握った。

〔久工大〕	得		〔明大〕	得
井上	0	GK	宮田	0
		GK	清水	0
野中	7	FP	岡野	8
田中	0	FP	矢吹	7
佐次田	0	FP	増田	5
高尾	2	FP	井森	0
中川	5	FP	久保田	3
仲西	0	FP	松本	6
栗原	5	FP	小池	1
児島	2	FP	木部	0
木村	1	FP	武井	0
石田	0	FP		
PT	(1) 22		PT	(2) 30

（審・中山、大出）

岩手大26〔12—11、14—10〕**21愛知学院大**

〔戦評〕前半、両チーム共にスピードのあるゲーム展開で点を取り合ったが、前半10分までに愛知学院大が3回の警告を取られ、前半4回の退場で14—10となった。

後半に入り、愛知学院大が連続得点をして14—12と差を縮めたが、後半も愛知の3回の退場により岩手大が有利のままゲームは進んだ。

〔愛学大〕	得		〔岩手大〕	得
和島	0	GK	多田	0
井上	0	GK	菊池	0
野山	5	FP	鈴木	6
上田	0	FP	小田島	3
井平	4	FP	斉藤	0
小森	1	FP	伊藤	0
田中	2	FP	高井	8
鹿島	5	FP	菊地	4
日比	0	FP	三田	3
猪飼	1	FP	桜庭	2
石原	3	FP	村上	0
福田	0	FP	今川	0
PT	(2) 21		PT	(1) 26

（審・清水、岡本）

国士館大34〔19—10、15—10〕**20大阪経済大**

〔戦評〕前年度チャンピオンの国士館が出だし波に乗り9—4とリードを広げたが、西日大2位の大阪経済大も負けじと9—7と差を縮めた。国士館は、さらに木村のロング、菅沼の速攻で点を取り、前半を15—10で折り返した。

後半に入り、勢いづく国士館が斉藤、木村の連続ロングで差を広げ、ディフェンスでは国士館独特の1—5ディフェンスで好守を見せ、後半13分までに25—12と差を広げ、国士館ペースで展開した。

〔大経大〕	得		〔国士大〕	得
奥村	0	GK	斉藤	0
中野	0	GK		
下田	1	FP	菅沼	7
高尾	2	FP	木村	6
西浦	1	FP	斉藤	9
中間	2	FP	福田	1
岩本	1	FP	太刀川	1
北村	4	FP	猪瀬	0
吉川	1	FP	長洞	1
山田	2	FP	林	5
多田	1	FP	源内	4
平沼	5	FP	中里	0
PT	(4) 20		PT	(3) 34

（審・浜田、小笠原）

日体大45〔21—8、24—13〕**21山口大**

〔戦評〕前半15分まで日体大のミスが多く、山口大もそのミスをうまく点に結びつけて健闘したが、ラスト10分で日体大が速攻で11点差をつけて折り返した。後半は日体の一方的な試合で終った。

〔山口大〕	得		〔日体大〕	得
近藤	0	GK	大沼	0
		GK	比嘉	0
出口	0	FP	長沢	4
永久	0	FP	松尾	7
西村	2	FP	斉藤	5
徳原	2	FP	比留間	5
岩本	2	FP	早川	6
弘中	0	FP	明石	4
土田	2	FP	宮里	1
百田	1	FP	橋本	5
稗田	2	FP	金井	2
古田	10	FP	佐藤	6
PT	(0) 21		PT	(1) 45

（審・飼沼、浅田）

法大29〔15—11、14—11〕**22京都産業大**

〔戦評〕開始、スカイプレーで得点をあげた京都産業大だが、シュート、パスミスなどから逆速攻を

〔京産大〕	得		〔法大〕	得
吉岡	0	GK	三原	0
中村	0	GK	中山	0
原野	3	FP	納	7
永野	2	FP	埜田	0
石丸	0	FP	大窪	3
横山	3	FP	戸田	1
加藤	1	FP	増田	8
前田	2	FP	土島	0
山本	2	FP	神保	0
井上	0	FP	田部	4
城	6	FP	岸	0
石口	3	FP	田村	6
PT	(1) 22		PT	(0) 29

（審・中山、大出）

許し、また、田村のロングシュートなどで差を広げ速攻を中心とした法大が勝った。

中京大 28〔12－7／16－11〕18 函館大

〔戦評〕前半は両校共守りからの速攻であったが、後半に入ってからは攻守共に中京大のリズムで進んだ。前・後半合わせて3人のケガ人が出た。中京大から2人、函館大から1人、この穴をうまく埋めたのが中京大で、後半は終始中京大ペースだった。函館大もチャンスはあったのだが、重要なところでのキャッチミスが目立った。

得	〔中京大〕		〔函館大〕	得
0	山田	GK	中屋	0
0	光安	GK	木下	0
2	栄原	FP	土屋	5
6	加藤	FP	花畑	3
6	北川原	FP	大野	0
0	森田	FP	岡本	0
5	山中	FP	伊藤	0
2	渡里	FP	遠藤	1
2	森	FP	堤	2
1	川口	FP	清水	2
3	栗田	FP	康本	5
1	渡部	FP	松澤	0
28	(1)	PT	(4)	18

〔審・浅井 山本〕

大阪体大 27〔13－6／14－7〕13 慶大

〔戦評〕序盤、両チーム共に互角の戦いであったが、中盤から大阪体大のスピードある攻撃で前半13−6と慶大を突き放した。後半も大阪体大が着々と点を取り、27−13と勝ち進んだ。慶大は今一つ波に乗ることができず敗れ去った。

中央大 34〔15－8／19－16〕24 近畿大

得	〔大体大〕		〔慶大〕	得
0	酒井	GK	勝又	0
0	大谷	GK	根岸	0
0	中村	FP	小林	0
0	福田	FP	倉知	0
4	福村	FP	児玉	2
6	西岡	FP	鈴木	5
2	梅基	FP	瀬川	0
0	田中	FP	加藤	0
2	村田	FP	紫田	4
4	寺島	FP	増子	1
3	河合	FP	宮本	1
6	萩原	FP	佐藤	0
27	(5)	PT	(2)	13

〔審・飼沼 浅田〕

〔戦評〕近畿大のディフェンスのミスが多く、それを逆に得点に結びつけた中大、田中の再三のロングシュートなどによりリードを広げ勝利を飾った。

得	〔中央大〕		〔近大〕	得
0	宇田川	GK	下尾	0
0	梅津	GK	沖野	0
7	柴田	FP	松村	6
0	中田	FP	坂本	5
2	吉田	FP	市村	3
2	伊藤	FP	福岡	1
7	田中	FP	藤谷	2
3	小野	FP	森本	4
6	佐藤	FP	小西	1
3	浜川	FP	大西	1
2	鈴木	FP	柳田	1
2	加藤	FP	長谷川	0
34	(0)	PT	(4)	24

〔審・中山 大出〕

順天堂大 20〔7－8／13－11〕19 名城大

〔戦評〕前半は、両チーム共シュートミスやパスミスがあったために点差が広がらず、名城大の1点リードで終った。後半は、両チーム共小さなミスがなくなり、とても白熱した良い試合となった。

結果は、順天堂大が逆転勝ちを収めた。

得	〔順大〕		〔名城大〕	得
0	長妻	GK	西田	0
0	平松	GK	劔持	0
1	本部	FP	柴田	1
1	山本	FP	堀	6
1	春山	FP	水谷	1
7	飯島	FP	羽根	6
0	川鍋	FP	貢	2
2	江成	FP	小松	0
3	加藤	FP	大田垣	3
1	大沢	FP	山北	0
2	富所	FP	横井	0
1	小口	FP	遠藤	0
20	(0)	PT	(0)	19

〔審・後藤 酒井〕

筑波大 31〔14－11／17－7〕18 東北学院大

〔戦評〕シュート、ディフェンスのミスを点にしている東北学院大に対し、着々とロング、ポストシュートなどにより点を取る筑波大。後半に入って疲れの見える東北学院大は、筑波大の逆速攻で点差をつけられた。

得	〔筑波大〕		〔東院大〕	得
0	澤井	GK	館野	0
0	片山	GK	佐藤	0
2	倉谷	FP	日下	7
3	清水	FP	佐藤	2
3	高田	FP	羽賀	1
5	永松	FP	吉田	5
1	三輪	FP	斉藤	0
2	新井	FP	佐々木	2
3	津兼	FP	高橋	0
8	宜保	FP	中沢	0
4	田中	FP	荒谷	0
0	鎌田	FP	江刺家	1
31	(3)	PT	(3)	18

〔審・浅井 山本〕

福岡大 31〔15－11／16－11〕22 同志社大

〔戦評〕西日本勢同士の対戦となり、前半の途中まではせり合っていたが、福岡大が徐々にリードを広げて前半が終った。後半に入っても福岡大が同志社大のミスにつけこみリードをさらに広げ、福岡大の勝利に終った。

得	〔福岡大〕		〔同大〕	得
0	北林	GK	菅沼	0
0	林	GK	香村	0
2	平安山	FP	大原	5
0	喜友名	FP	千葉	3
0	木村	FP	誉田	1
7	大坪	FP	久保田	2
2	柿永	FP	小野田	3
6	清水	FP	新	0
7	末岡	FP	三輪	6
1	島	FP	泉	0
2	田中	FP	小沢	0
4	仁熊	FP	山田	2
31	(0)	PT	(2)	22

〔審・後藤 酒井〕

〈2回戦〉

早大 34〔13－9／21－9〕18 金沢大

〔戦評〕前半、速攻で点を取り、差を広げた早大であったが、中盤金沢大のGKの好守で終了3分前までは10−9と互角のゲーム展開をしていた。しかし、金沢大にミスが続出、早大が連続速攻で得点し、前半13−9で終了した。前半健闘していた金沢大は、後半戦序盤も早大についてはいたものの、早大・甲斐のロング、GK高橋の好キープに阻まれ、連続速攻得点され、差を大きく広げられた。

得	〔早大〕		〔金沢大〕	得
0	天野	GK	北村	0
0	高橋	GK	桜打	0
9	坂田	FP	手島	0
5	桑山	FP	島多	3
3	佐藤	FP	澤田	5
0	杣山	FP	西村	1
0	中村	FP	畠山	5
5	甲斐	FP	中井	2
6	清田	FP	徳前	2
0	大中	FP	田中	0
6	大橋	FP	久保田	0
0	大村	FP	横山	0
34	(1)	PT	(1)	18

〔審・岡本 清水〕

大阪教育大 21〔10－7／11－8〕15 東京学芸大

〔戦評〕実力は互角の両チームの戦いは、共にミスが多く、前半10−7と低得点のゲーム展開となった。後半に入り、東学大が波に乗り、3連続得点をあげ10−10としたが、大教大も東芸大のミスを得点につなぎ14−10と突き放すが、GKの好守で再び14−14と追いつく。しかし、攻撃力に欠ける東学大はなかなか得点できず、大教大が突き放した。

得	〔大教大〕		〔東学大〕	得
0	月森	GK	松井	0
		GK	町田	0
3	岸本	FP	津島	4
0	秦	FP	山本	1
1	中島	FP	森田	0
1	茶谷	FP	川瀬	0
0	浦山	FP	大橋	5
6	前田	FP	月村	0
5	山崎	FP	武藤	0
0	隅	FP	野口	4
5	古角	FP	花車	1
0	松本	FP	斉藤	0
21	(0)	PT	(1)	14

〔審・浜田 小笠原〕

日大 25〔16－5／19－11〕16 明大

〔戦評〕明大は途中ケガで2人が退場したため攻守のコンビが合わず、一方日大は相手ミスを着々と得点につなげ、前半で11点差と大差をつけた。後半に入っても日大が速攻などで着々と重ね、大差で勝利を飾った。

〔明大〕	得		〔日大〕	得
宮田	0	GK	堀江	0
清水	0		木明	0
岡野	4	FP	吉見	6
矢吹	1		堀川	3
増田	2		野平	0
井森	0		春木	1
久保田	1		田子	3
松本	2		大藪	4
小池	4		雨宮	5
木部	2		小河原	7
武井	0		山田	0
			丹羽	6
(2)	16	PT	(3)	35

（審・佐藤、川口）

国士館大 30（9－14、21－6）20 岩手大

〔戦評〕前半、国士館大はGKの好守から速攻で得点を重ねていき、セットプレーではロングシュートが目立った。後半、岩手大もペースをつかみ得点するが、国士館大は前半の大差を守り逃げ切った。

〔岩手大〕	得		〔国士大〕	得
多田	0	GK	斉藤	0
菊地	0			
鈴木	6	FP	菅沼	2
小田島	1		木村	6
斉藤	0		斉藤	10
伊藤	0		福田	2
高井	2		杉浦	1
菊地	1		猪瀬	1
三田	2		長洞	0
桜庭	7		林	6
村上	1		源内	2
今川	0		小野	0
(1)	20	PT	(0)	30

（審・大出、中山）

日本体育大 27（13－8、14－8）16 法大

〔戦評〕前半、互いに波に乗れず持ち前のペースに持っていくのが遅かった。法大は大事な時のシュートミスがあった。高さに勝る日体大が、前半からのリードを保ち攻守一体となって勝ちに導いた。

〔法大〕	得		〔日体大〕	得
三原	0	GK	大沼	0
中山	0		比嘉	0
納	4	FP	長沢	7
埜田	2		松尾	3
大窪	3		斉藤	1
戸田	1		比留間	2
増田	0		早川	3
土島	0		明石	4
神保	0		宮里	1
田部	0		橋本	4
岸	1		金井	1
田村	5		佐藤	1
(4)	16	PT	(6)	27

（審・浅田、飼沼）

大阪体育大 23（16－8、7－10）18 中京大

〔戦評〕前半、大体大がペースをつかみ6－2とリードしていたが、中京大が好ディフェンスから連続得点し、6－6と追い上げ波に乗る中京大が得点を重ね、前半10－7で終了。後半に入り、大体大が中京大のミスから寺島のロング、河合のカットインなどで同点とし、なおも得点を重ねリードし、後半は大体大ペースでゲームは進み、中京も追い上げを見せるが、今一つ波に乗ることはできなかった。

〔中京大〕	得		〔大体大〕	得
山田	0	GK	酒井	0
光安	0		大谷	0
柴原	2	FP	中村	0
加藤	3		福田	0
北川原	2		福村	5
森田	0		西岡	2
山中	3		梅基	2
渡里	3		田中	0
森	1		村田	1
川口	0		寺島	3
栗田	2		河合	4
渡部	2		萩原	6
(1)	18	PT	(2)	23

（審・大出、中山）

中央大 30（17－12、13－9）21 順天堂大

〔戦評〕前半の20分間は、両チーム共波に乗れず点差が広がらなかったが、残り10分で中央大がペースをつかみ、前半13－9とリードして終了した。後半、順天堂大は速攻やロングシュートで追い上げるが、最後は力に勝る中央大が30－21で勝利を収めた。

〔順大〕	得		〔中央大〕	得
長妻	0	GK	宇田川	0
平松	0		伊藤	0
本部	3	FP	柴田	3
山本	1		中田	0
春山	3		伊藤	5
飯島	0		田中	6
川鍋	0		大矢	0
江成	1		佐藤	10
加藤	0		浜川	1
大沢	1		鈴木	4
富所	4		加藤	1
小口	4		神里	0
(0)	21	PT	(2)	30

（審・山本、浅井）

福岡大 22（13－13、9－6）19 筑波大

〔戦評〕両者共はじめから激しい攻防で前半5分まで0点という試合運び、緊迫した中での1点は大きく、3点差で前半を折り返す。後半もシーソーゲームの展開で、残り1分半での福岡大の末岡のカットインシュートが決め手となった。

〔筑波大〕	得		〔福岡大〕	得
澤井	0	GK	北林	0
片山	0		林	0
倉谷	1	FP	平安山	3
清水	6		喜友名	2
高田	4		木村	0
永松	0		大坪	5
三輪	0		柿永	0
新井	6		清水	0
津兼	1		末岡	7
宜保	0		島	0
田中	0		田中	2
鎌田	1		仁熊	3
(0)	19	PT	(3)	22

（審・小笠原、浜田）

〈準決勝リーグA組〉

早大 33（11－6、22－10）16 大阪教育大

〔戦評〕前半、早大の堅い守りから大教大のミスが続き、それを確実に早大が得点にし、早くも大量点差がついてしまった。後半に入っても早大の勢いは止まらず、結局、大教大はペースに乗れないまま終ってしまった。

〔大教大〕	得		〔早大〕	得
月森	0	GK	天野	0
			高橋	0
岸本	1	FP	坂田	10
秦	0		桑山	2
中島	0		佐藤	3
茶谷	0		杣山	1
浦山	0		中村	3
前田	5		甲斐	3
山崎	5		清田	6
隅	0		大中	1
古角	0		大橋	4
松本	5		大村	0
(2)	16	PT	(4)	33

（審・浅田、飼沼）

日大 21（12－11、9－6）17 国士館大

〔国士大〕	得		〔日大〕	得
斉藤	0	GK	堀江	0
			木明	0
菅沼	1	FP	吉見	3
木村	6		堀川	2
斉藤	7		野平	0
福田	0		春木	0
太刀川	0		田子	2
猪瀬	2		大藪	0
長洞	0		雨宮	2
林	1		小河原	4
源内	0		山田	2
中里	0		丹羽	6
(2)	17	PT	(3)	21

（審・小笠原、浜田）

〔戦評〕互いに息づまったゲーム展開となり、国士館大のシュートミスを逆速攻で得点にした日大が前半を3点リード。後半も大事な場面での1点が勝負を左右した試合だった。

早大 26 〔15―15／11―10〕 25 国士館大

〔国士大〕		得
GK	斉藤	0
FP	菅沼	8
	木村	4
	斉藤	8
	福田	0
	太刀川	0
	猪瀬	2
	長洞	0
	林	3
	源内	0
	中里	0
PT	(2)	25

〔早大〕		得
GK	天野	0
	高橋	0
FP	坂田	6
	桑山	0
	杣山	0
	中村	2
	甲斐	6
	清田	7
	小林	0
	大中	0
	大橋	5
	大村	0
PT	(4)	26

〔審・飼沼、浅田〕

〔戦評〕前半開始直後から国士館・斉藤、木村、早大・甲斐のロングシュートの打ち合いとなり、15―15で折り返した。後半に入り、両チーム速攻からの点数が多くなり、走りの戦いとなる。甲斐にマツーがつき、ロングからの攻撃はなくなったが、終了前、早大が強引なシュートで勝負を決めた。

日大 24 〔9―14／15―7〕 21 大阪教育大

〔大教大〕		得
GK	月森	0
FP	岸本	2
	秦	0
	中島	2
	茶谷	2
	加藤	0
	前田	8
	山崎	4
	隅	0
	古角	0
	松本	3
PT	(1)	21

〔日大〕		得
GK	堀江	0
	木明	0
FP	吉見	7
	堀川	1
	野平	3
	春木	3
	田子	1
	大籔	0
	雨宮	4
	小河原	1
	山田	3
	丹羽	1
PT	(4)	24

〔審・浜田、小笠原〕

〔戦評〕イージーミスからの点数と大教大のGKの好守からかなり苦しむ日大が、ペースに乗れず折り返した。後半直後から走る攻撃に変った日大の連続得点で逆転し、大教大を下した。

早大 25 〔16―9／9―10〕 19 日大

〔日大〕		得
GK	堀江	0
	木明	0
FP	吉見	1
	堀川	2
	野平	0
	春木	2
	田子	3
	大籔	0
	雨宮	4
	小河原	5
	山田	1
	丹羽	1
PT	(2)	19

〔早大〕		得
GK	天野	0
	高橋	0
FP	坂田	3
	桑山	5
	杣山	0
	中村	3
	甲斐	7
	清田	4
	小林	0
	大中	0
	大橋	7
	大村	0
PT	(2)	25

〔審・後藤、酒井〕

〔戦評〕試合開始直後からシュート力に勝る早大が次々に得点をあげ、前半は完全に早大ペースで終えた。後半に入ると日大も追い上げ、互角にゲームを進めたが、前半の得点差がものをいい早大が逃げ切った。

国士館大 25 〔14―9／11―10〕 19 大阪教育大

〔大教大〕		得
GK	月森	0
FP	岸木	3
	秦	0
	中島	3
	茶谷	2
	加藤	0
	浦山	0
	前田	3
	山崎	4
	古角	0
	松本	4
PT	(3)	19

〔国士大〕		得
GK	斉藤	0
FP	菅沼	7
	木村	1
	斉藤	6
	福田	2
	太刀川	0
	猪瀬	6
	長洞	0
	林	2
	源内	1
	中里	0
PT	(0)	25

〔審・飼沼、浅田〕

〔戦評〕準決勝リーグだけあって試合内容も混戦となってきている。攻守一体となっていないというゲームだが、大教大にディフェンスのミスがあり、国士館大・斉藤のロングシュートなどにより勝った。

〈準決勝リーグB組〉

日本体育大 27 〔12―9／15―9〕 18 福岡大

〔戦評〕東日本2位、西日本1位同士の戦いとなり、前半は途中まで両チームとも1点を争う緊張したゲームとなったが、日体大が1歩リードして前半を終った。後半に入って、福岡大のミスを日体大が速攻などで得点に結びつけ、突き放した。福岡大は力を出し切れずに終ってしまったようだ。

〔福岡大〕		得
GK	北林	0
	林	0
FP	平安山	3
	喜友名	5
	木村	0
	大坪	0
	柿永	0
	清水	3
	末岡	1
	島	0
	田中	0
	仁熊	6
PT	(2)	18

〔日体大〕		得
GK	大沼	0
	比嘉	0
FP	長沢	5
	松尾	1
	斉藤	1
	比留間	2
	早川	4
	明石	2
	橋本	2
	金井	1
	佐藤	8
	海老沢	1
PT	(1)	27

〔審・岡本、清水〕

大阪体育大 19 〔7―7／12―8〕 15 中央大

〔戦評〕前半、開始から激しい攻防で始まり、緊迫したゲーム展開からの1点は大きく、まさに一進一退の好ゲームだった。

〔中大〕		得
GK	宇田川	0
	伊藤	0
FP	柴田	1
	中田	0
	伊藤	2
	田中	4
	大矢	0
	佐藤	3
	浜川	2
	鈴木	3
	加藤	0
	神里	0
PT	(1)	15

〔大体大〕		得
GK	酒井	0
	大谷	0
FP	中村	0
	福田	0
	福村	5
	西岡	4
	梅基	0
	田中	0
	村田	0
	寺島	4
	河合	2
	萩原	4
PT	(2)	19

〔審・後藤、酒井〕

日本体育大 22 〔11―12／11―9〕 21 中央大

〔戦評〕白熱するゲーム展開の中で両チーム共に点を取り合い、シーソーゲームをくり広げて前半12―11の熱戦であった。後半に入り、日体大が長沢の連続ロング、速攻などで一気に逆転し、波に乗った日体大が得点を重ね、中大も追い上げたが1歩及ばなかった。

〔中大〕		得
GK	宇田川	0
	伊藤	0
FP	柴田	3
	中田	0
	伊藤	4
	田中	5
	大矢	0
	佐藤	4
	浜川	3
	鈴木	1
	加藤	1
	神里	0
PT	(2)	21

〔日体大〕		得
GK	大沼	0
	比嘉	0
FP	長沢	9
	松尾	1
	斉藤	2
	比留間	0
	早川	8
	明石	0
	橋本	2
	金井	0
	佐藤	0
	海老沢	0
PT	(3)	22

〔審・浅井、山本〕

福岡大20〔14—10 / 6—9〕**19大阪体育大**

〔戦評〕前半、両チーム共個人技の目立つ接戦になったが、14—10と福岡大がリード。後半、大体大が速攻やロングシュートで14—14の同点にし、1点差のゲームが続き、ラスト18秒で大体大がマンツーマンディフェンスをするが、福岡大が1点差で逃げ切った。

	〔大体大〕	得
GK	酒井	0
GK	大谷	0
FP	中村	0
FP	福田	1
FP	福村	2
FP	西岡	5
FP	梅基	3
FP	田中	1
FP	村田	5
FP	寺島	2
FP	河合	0
FP	萩原	0
PT	(0)	19

	〔福岡大〕	得
GK	北林	0
GK	林	0
FP	平安山	3
FP	喜友名	3
FP	木村	0
FP	大坪	4
FP	柿永	0
FP	清水	3
FP	末岡	5
FP	島	0
FP	田中	0
FP	仁熊	2
PT	(0)	20

（審・岡本　清水）

大阪体育大12〔7—4 / 5—5〕**9日本体育大**

〔戦評〕両者共気迫のこもったプレーでスタートしたが、前半、日体大・長沢のロングシュートに対しGK大谷の好守で大体大のペースで折り返す。後半に入り、日体大の攻撃の幅が広がり、後半10分には9—7まで差を縮めるが、大体大の粘りのあるディフェンスとGKの好守で大体大が日体大を下した。

	〔日体大〕	得
GK	大沼	0
GK	比嘉	0
FP	長沢	2
FP	松尾	2
FP	斉藤	2
FP	比留間	1
FP	早川	0
FP	明石	0
FP	橋本	2
FP	金井	0
FP	佐藤	0
FP	海老沢	0
PT	(0)	9

	〔大体大〕	得
GK	酒井	0
GK	大谷	0
FP	中村	0
FP	福田	0
FP	福村	5
FP	西岡	2
FP	梅基	3
FP	田中	1
FP	村田	1
FP	寺島	0
FP	河合	0
FP	萩原	0
PT	(4)	12

（審・岡本　清水）

中央大22〔11—13 / 11—8〕**21福岡大**

〔戦評〕多彩な攻撃力を持つ福岡大のミスが目立ち、ミスから失点を与える場面が多く見られた。中大・田中の相手の高いディフェンスからの強引なシュートが決まり、中大のペースで折り返した。後半に入り、スピードのある攻撃から10分に同点に追いついたが、速攻からの点数が決め手となり中央大が福岡大を下した。

	〔福岡大〕	得
GK	北林	0
GK	林	0
FP	平安山	3
FP	喜友名	2
FP	木村	0
FP	大坪	3
FP	柿永	0
FP	清水	5
FP	末岡	4
FP	島	0
FP	田中	0
FP	仁熊	4
PT	(0)	21

	〔中大〕	得
GK	宇田川	0
GK	伊藤	0
FP	柴田	4
FP	中田	0
FP	伊藤	4
FP	田中	4
FP	大矢	0
FP	佐藤	3
FP	浜川	5
FP	鈴木	0
FP	加藤	2
FP	神里	0
PT	(1)	22

（審・浅井　山本）

〈決勝リーグ〉

日本体育大24〔13—9 / 11—10〕**19日大**

〔戦評〕前半、開始早々日大が2点を連取し、日大ペースで進むと思われたが、日体大GKの好守もあり、日体大がじわじわと追い上げて逆転、11—10で日体大のリードで終った。後半に入り、日体大、日大共に点を取り合い、最後までせり合ったが、結局24—19で日体大が粘り勝った。

	〔日大〕	得
GK	堀江	0
GK	木明	0
FP	吉見	7
FP	堀川	0
FP	野平	0
FP	春木	0
FP	田子	2
FP	大藪	0
FP	雨宮	4
FP	小河原	1
FP	山田	0
FP	丹羽	5
PT	(4)	19

	〔日体大〕	得
GK	大沼	0
GK	比嘉	0
FP	長沢	6
FP	松尾	2
FP	斉藤	5
FP	比留間	3
FP	早川	2
FP	明石	0
FP	橋本	2
FP	金井	0
FP	佐藤	4
FP	海老沢	0
PT	(4)	24

（審・飼沼　浅田）

大阪体育大26〔14—11 / 12—13〕**24早大**

〔戦評〕早大が先行し、そのまま試合が進行するかに見えたが、大

体大もすぐに追いつき、互角の展開となった。前半は早大の1点リードで終えた。後半に入ると大体大が先行するが、早大も必死で追い上げ残り9分に同点となった。その後激しい点の取り合いとなったが、残り3分を切って大体大が3点リード、早大も必死に追い上げたが、結局2点差で大体大が逃げ切った。

早大	得		大体大	得
天野	0	GK	酒井	0
高橋	0	GK	大谷	0
坂田	4	FP	中村	0
桑山	3	FP	福田	0
佐藤	1	FP	福村	8
柚山	0	FP	西岡	5
中村	1	FP	梅基	1
甲斐	7	FP	田中	1
清田	4	FP	村田	0
大中	0	FP	寺島	6
大橋	0	FP	河合	3
大村	4	FP	萩原	2
24	(0)	PT	(3)	26

（審・浅井・山本）

大阪体育大 24 ｛11—10、13—5｝ 15 日大

〔戦評〕大体大は前半シュートミスが続き点差を広げられない。一方日大も、15分過ぎの大体大・河合、寺島らの退場にもかかわらず得点をあげられない。前半20分からは、大体大・寺島、梅基を中心に得点を重ね前半を終了。後半、小笠原のポストシュートで日大も粘るが点差は縮まらず、終始大体大ペースで試合を終えた。

日大	得		大体大	得
堀江	0	GK	酒井	0
木明	0	GK	大谷	0
吉見	2	FP	中村	0
堀川	0	FP	福田	0
野平	0	FP	福村	2
春木	0	FP	西岡	5
田子	2	FP	梅基	3
大藪	0	FP	田中	4
雨宮	6	FP	村田	2
小河原	4	FP	寺島	6
山田	1	FP	河合	2
丹羽	0	FP	萩原	0
15	(1)	PT	(2)	24

（審・岡本・清水）

日本体育大 27 ｛16—13、11—10｝ 23 早大

〔戦評〕前半、両チーム共シュートミスやパスミスなどで点差が開らかず、11—10の早大リードで終った。後半も1点差のゲームが続くが、最後は日体大が4点差をつけて勝利を飾った。

早大	得		日体大	得
天野	0	GK	大沼	0
高橋	0	GK	比嘉	0
坂田	7	FP	長沢	8
桑山	1	FP	松尾	1
佐藤	0	FP	斉藤	4
柚山	0	FP	比留間	2
中村	3	FP	早川	5
甲斐	4	FP	明石	0
清田	6	FP	宮里	0
大中	0	FP	橋本	4
大橋	1	FP	金井	0
菰原	0	FP	佐藤	3
23	(4)	PT	(1)	27

（審・浜田・小笠原）

〔順位〕

①大阪体育大（3勝）
②日本体育大（2勝1敗）
③早大（1勝2敗）
④日大（3敗）

女子

1回戦

東女体大 49 ｛24—5、25—1｝ 6 東北福祉大

東福大	得		東女体	得
大庭	0	GK	野寺	0
赤間	0	GK	村山	0
阿部	1	FP	鈴木	7
早坂	0	FP	内田	8
神尾	0	FP	北島	6
佐々木	0	FP	後藤	5
森屋	0	FP	松本	4
松塚	1	FP	金順淑	2
中井	2	FP	柳京美	2
木村	2	FP	藤井	5
石山	0	FP	佐藤	5
山口	0	FP	伝法谷	5
6	(0)	PT	(2)	49

（審・村松・羽田）

大阪教大 19 ｛11—7、8—3｝ 10 東海大

東海大	得		大教大	得
発生川	0	GK	岡持	0
藤崎	0	GK	難波	0
杉内	0	FP	高尾	5
伊藤	3	FP	星尾	6
遠藤	1	FP	前田	1
武田	1	FP	高田	5
青沼	0	FP	道林	1
小暮	5	FP	柏原	0
		FP	田村	1
		FP	筒井	0
		FP	西口	0
		FP	藤沢	0
10	(1)	PT	(3)	19

（審・後藤・酒井）

武庫川女大 48 ｛21—2、27—1｝ 3 富山大

富山大	得		武庫川	得
大割	0	GK	宮本	0
楠木	0	GK	前川	0
山本	0	FP	笠井	2
笠井	1	FP	堂下	6
片岡	0	FP	寄田	3
津田	0	FP	岸間	3
福本	0	FP	城	11
川渕	0	FP	米田	7
玉井	0	FP	塩崎	5
根本	0	FP	西村	3
杉林	1	FP	千秋	4
三沢	1	FP	篠原	4
3	(0)	PT	(3)	48

（審・川口・佐藤）

日体大 31 ｛11—10、20—9｝ 19 天理大

天理大	得		日体大	得
加藤	0	GK	安室	0
山中	0	GK	松永	0
森本	1	FP	長澤	0
野谷	1	FP	梅原	4
木谷	1	FP	江原	0
藤江	6	FP	金子	3
大橋	1	FP	黒沼	0
三浦	0	FP	山口	3
堀田	2	FP	外館	3
松崎	1	FP	新田	4
鹿島	4	FP	小島	3
菅	2	FP	小林	11
19	(3)	PT	(2)	31

福岡大 21 ｛12—11、9—9｝ 20 中京女大

中京女	得		福岡大	得
佐藤	0	GK	竹馬	0
中村	0	GK	村瀬	0
竹内	3	FP	石田	1
秋葉	0	FP	陶山	2
矢野	1	FP	高木	2
榊原	4	FP	新垣	2
名嘉	0	FP	立花	4
野田	0	FP	藤村	1
林	4	FP	甲斐	0
星野	4	FP	喜屋原	5
平野	4	FP	太田	4
豊田	0	FP		
20	(0)	PT	(3)	21

（審・川口・佐藤）

日女体大25〔12―8, 13―4〕**12 中京大**

得	〔日女体〕		〔中京大〕	得
0	中嶋	GK	川口	0
0	村上	GK	鈴木	0
7	小澤	FP	山内	2
7	石井	FP	竹田	0
2	岩渕	FP	牧田	1
1	杉田	FP	伊藤	0
5	土橋	FP	土岐	0
2	井出	FP	有山	0
1	佐々木	FP	大西	6
0	北島	FP	小林	3
1	増田	FP	小田切	0
0	渡辺	FP	大窪	0
25	(1)	PT	(1)	12

〔審・村松・羽田〕

大阪体大24〔12―7, 12―2〕**9 東京学芸大**

得	〔大体大〕		〔東学大〕	得
0	山本	GK	石丸	0
0	田中	GK		
0	中尾	FP	山岡	0
4	宇崎	FP	森島	0
5	小橋	FP	田中	0
3	末佐	FP	水上	1
1	春木	FP	塩澤	1
1	村松	FP	中村	7
1	桝田	FP	涌波	0
0	飯田	FP	湯川	0
4	下出	FP		
5	富広	FP		
24	(3)	PT	(2)	9

〔審・　〕

2回戦

東女体大42〔23―4, 19―6〕**10 大阪教大**

得	〔東女体〕		〔大教大〕	得
0	野寺	GK	岡持	0
0	村山	GK	難波	0
10	鈴木	FP	高尾	1
3	北島	FP	星尾	2
1	後藤	FP	前田	0
1	金順淑	FP	大石	0
11	柳京美	FP	高田	1
1	長谷川	FP	道林	1
7	藤井	FP	柏原	0
0	川西	FP	田村	3
2	佐藤	FP	西口	0
6	伝法谷	FP	藤沢	2
42	(5)	PT	(0)	10

〔審・村松・羽田〕

筑波大23〔13―7, 10―9〕**16 武庫川女大**

得	〔筑波大〕		〔武庫川〕	得
0	吉村	GK	宮本	0
0	山下	GK	前川	0
0	中嶋	FP	笠井	6
1	稲垣	FP	堂下	1
0	河野	FP	寄田	1
5	中嶋	FP	川本	0
4	三宅	FP	岸間	3
1	相川	FP	城	4
3	和田	FP	塩崎	1
3	磯山	FP	西村	0
0	大塚	FP	千秋	0
6	林	FP	篠原	0
23	(3)	PT	(3)	16

〔審・後藤・青木〕

日体大27〔16―5, 11―6〕**11 福岡大**

得	〔日体大〕		〔福岡大〕	得
0	安室	GK	竹馬	0
0	松永	GK	村瀬	0
4	長澤	FP	右田	1
1	梅原	FP	陶山	1
1	江原	FP	高木	0
1	金子	FP	新垣	3
1	黒沼	FP	立花	1
1	山口	FP	藤村	1
3	丸山	FP	甲斐	0
3	外館	FP	喜屋原	1
5	小島	FP	太田	3
5	小林	FP		
27	(4)	PT	(1)	11

〔審・村松・羽田〕

日女体大15〔7―7, 8―7〕**14 大阪体大**

得	〔日女体〕		〔大体大〕	得
0	中嶋	GK	山本	0
0	村上	GK	田中	0
5	小澤	FP	中尾	3
6	石井	FP	大角	0
0	岩渕	FP	小橋	5
2	杉田	FP	末佐	0
1	井出	FP	村松	2
1	土橋	FP	池田	0
0	佐々木	FP	桝田	3
0	北島	FP	飯田	1
0	増田	FP	下出	0
0	渡辺	FP	富広	0
15	(2)	PT	(3)	14

〔審・後藤・酒井〕

〈決勝リーグ〉

筑波大23〔10―11, 13―8〕**19 日女体大**

〔戦評〕前半、筑波大が速攻やロングシュートなどで13―8とリードする。後半、日女体大が追いつき、1点差のゲームを展開したが、最後は筑波大が23―19と突き放した。

得	〔筑波〕		〔日女体〕	得
0	吉村	GK	中嶋	0
0	山下	GK	村上	0
4	中嶋華	FP	小沢	0
0	稲垣	FP	石井	10
1	河野	FP	岩渕	0
5	中嶋恵	FP	杉田	0
2	三宅	FP	土橋	1
3	相川	FP	井出	4
0	鋤崎	FP	佐々木	1
2	和田	FP	北島	2
0	磯山	FP	増田	0
6	林	FP	渡辺	1
23	(1)	PT	(3)	19

〔審・小笠原・浜田〕

東女体大30〔16―13, 14―10〕**23 日体大**

〔戦評〕両チームとも前半途中までは1点を争うシーソーゲームだったが、前半の終りになって東女体大がじりじり突き放しにかかった。後半に入った直後、日体大のミスを得点につなげ、リードをさらに広げた。日体大も徐々に追い上げたが、1歩及ばなかった。

得	〔東女体〕		〔日体大〕	得
0	野寺	GK	安室	0
0	村山	GK	松永	0
7	鈴木	FP	長澤	5
3	北島	FP	梅原	2
0	後藤	FP	江原	0
5	金順淑	FP	金子	2
7	柳京美	FP	黒沼	1
0	長谷川	FP	山口	3
4	藤井	FP	外館	2
0	川西	FP	新田	3
1	佐藤	FP	小島	3
3	伝法谷	FP	小林	2
30	(5)	PT	(3)	23

〔審・岡本・清水〕

東女体大21〔9―6, 12―8〕**14 筑波大**

〔戦評〕前半立ち上がりより両チームとも激しい攻防を展開。筑波大の方がミスが多く、前半は東女体大が一歩リードした。後半に入っても、筑波はミスを連発、東女体大は確実に得点を重ねて逃げ切った。

得	〔東女体〕		〔筑波〕	得
0	野寺	GK	吉村	0
0	村山	GK	山下	0
2	鈴木	FP	中嶋華	1
2	北島	FP	稲垣	0
0	後藤	FP	河野	0
6	金順淑	FP	中嶋恵	0
3	柳京美	FP	三宅	2
0	長谷川	FP	相川	1
7	藤井	FP	鋤崎	0
0	川西	FP	和田	0
0	佐藤	FP	磯山	0
1	伝法谷	FP	林	10
21	(1)	PT	(4)	14

〔審・浅井・山本〕

日体大 〔8—8 / 9—9〕 **17日女体大**

〔戦評〕前半、日女体大がリードを奪ったが、ラスト2分で日体大が同点に追いつき、8—8で前半を終了。後半も日女体大が先手を取ったが、やはりラスト5秒で日体大が追いつき、引き分けに終った。退場者が8人も出る激しい試合だった。

	〔日女体〕	得		〔日体大〕	得
GK	中嶋	0	GK	安室	0
GK	村上	0	GK	松永	0
FP	小沢	1	FP	長沢	2
FP	石井	7	FP	梅原	0
FP	岩渕	2	FP	江原	0
FP	杉田	0	FP	金子	3
FP	土橋	4	FP	黒沼	0
FP	井出	1	FP	山口	1
FP	佐々木	1	FP	丸山	0
FP	北島	0	FP	外館	3
FP	増田	1	FP	小島	4
FP	渡辺	0	FP	小林	4
PT	(3)	17	PT	(0)	17

（審・浜田・小笠原）

筑波大26 〔9—10 / 17—12〕 **22日体大**

〔戦評〕最終戦とあって両者白熱したゲーム展開を見せた。日体大・金子の強引なプレー、GK松永の好守が光った。一方の筑波大はフリースローからの点数、また、林のロングシュートでゴールをねらう。後半開始直後、筑波大はマンツーマンディフェンスに変え、日体大におそいかかる。また速い攻撃で得点をあげて逆転に成功。残り10分からは筑波大が速攻により得点を重ね、日体大を突き放した。

	〔日体大〕	得		〔筑波〕	得
GK	安室	0	GK	吉村	0
GK	松永	0	GK	山下	0
FP	長沢	4	FP	中嶋華	7
FP	梅原	0	FP	稲垣	1
FP	江原	0	FP	河野	1
FP	金子	8	FP	中嶋恵	1
FP	黒沼	1	FP	三宅	6
FP	山口	1	FP	相川	3
FP	外館	2	FP	鋤崎	0
FP	新田	0	FP	和田	1
FP	小島	3	FP	磯山	2
FP	小林	3	FP	林	4
PT	(1)	22	PT	(1)	26

（審・浅井・山本）

東女体大29 〔16—7 / 13—8〕 **15日女体大**

〔戦評〕前半、東女体大は日女体大のシュートミスやパスカットからの速攻で得点を重ねていった。また、セットプレーの面でも日女体大の失敗に対し、東女体大は確実に得点した。後半に入っても、波に乗った東女体大が、必死に追撃する日女体大からなおも追加点を奪い、日女体大を破って決勝リーグ全勝で優勝を飾った。

	〔日女体〕	得		〔東女体〕	得
GK	中嶋	0	GK	野寺	0
GK	村上	0	GK	村山	0
FP	小沢	7	FP	鈴木	9
FP	石井	2	FP	内田	2
FP	岩渕	0	FP	北島	5
FP	杉田	0	FP	後藤	1
FP	土橋	1	FP	松本	0
FP	井出	4	FP	金順淑	2
FP	佐々木	0	FP	柳京美	5
FP	北島	0	FP	藤井	4
FP	増田	0	FP	佐藤	0
FP	渡辺	1	FP	伝法谷	1
PT	(1)	15	PT	(5)	29

（審・飼沼・浅田）

〔順位〕

①東京女子体育大（3勝）
②筑波大（2勝1敗）
③日本体育大（1分2敗）
④日本女子体育大（1分2敗）
※3、4位は総得点差による。

各地の記録から・・・

東北

第24回仙台市民総体

（9月11、12／仙台市体育館）

〈男子〉

▼1回戦

塩釜A 31－11 仙台西B

仙台西A 43－23 仙台商

▼2回戦

育英B 43－11 榴ヶ岡

塩釜A 28－24 向山

仙台二 25－21 仙台一A

塩釜B 21－19 泉松陵

宮城工 18－12 東北

仙台一B 28－11 東北電子

仙台南 13－9 仙台三

育英A 35－21 仙台西A

▼3回戦

育英A 35－21 仙台西A

仙台二 24－19 塩釜A

仙台一B 28－19 塩釜B

育英B 22－13 仙台南

▼準決勝

仙台二 20－19 育英B

仙台一B 24－21 育英A

▼決勝

仙台一B 25（12－2、13－15）17 仙台二

※仙台一は9年ぶり4回目の優勝

〈女子〉

▼1回戦

聖和A 49－4 仙台西

朴沢 31－5 仙台女商

三女A 12－11 二女

聖和B 40－4 三女B

▼準決勝

聖和A 23－9 三女A

聖和B 26－9 朴沢

▼決勝

聖和A 27（6－5、21－3）8 聖和B

※聖和Aは6年連続6回目の優勝。

宮城県高校新人大会

（日程、場所不明）

〈男子〉

▼1回戦

佐沼 25－9 仙台南

古川工 37－11 榴岡

仙台商 30－13 宮城水

東北 32－31 一迫商

泉松陵 28－10 仙台

古川 26－11 名取北

宮城工 22－17 築館

仙台西 25－18 泉館山

仙台向山 30－14 工大電子

仙台三 23－13 仙台東

▼2回戦

仙台育英 29－17 佐沼

古川工 30－17 仙台商

宮城広瀬 39－29 東北

仙台二 16－15 泉松陵

仙台一 12－11 古川

塩釜 28－9 宮城工

仙台西 34－20 仙台向山

古川商 25－16 仙台三

▼3回戦

仙台育英 25－16 古川工

仙台二 32－16 宮城広瀬

仙台一 17－15 塩釜

古川商 32－18 仙台西

▼準決勝

仙台育英 22－13 仙台二

古川商 26－12 仙台一

▼決勝

仙台育英 25（14－12、11－10）22 古川商

〈女子〉

▼1回戦

泉松陵 16－12 名取北

▼2回戦

古川商 30－8 塩釜女

古川女 29－5 泉館山

朴沢女 17－6 宮城一女

飯野川 36－7 仙台西

宮城二女 32－3 仙台東

宮城三女 25－2 築館女

涌谷 28－7 佐沼

聖和 36－6 泉松陵

▼3回戦

聖和 27－10 古川商

朴沢女 11－10 古川女

飯野川 17－12 宮城二女

宮城三女 21－16 涌谷

▼準決勝

聖和 19－9 朴沢女

宮城三女 14－9 飯野川

▼決勝

聖和 26（11－6、15－3）9 宮城三女

関東

第11回関東実業団大会

（9月4、5日、市原市三井石油化学体育館他）

〈男子一部〉

▼1回戦

中村荷役 35－25 セントラル自動車

▼準決勝

三景 28－27 三陽商会

大崎電気 48－17 中村荷役

▼3位決定戦

三陽商会 42－24 中村荷役

▼決勝

三景 33（18－10、15－11）21 大崎電気

〈女子〉

▼準決勝

大崎電気 31－20 ムネカタ

シャトレーゼ 36－20 東京重機

▼3位決定戦

東京重機 31－21 ムネカタ

▼決勝

大崎電気 28（13－12、15－14）26 シャトレーゼ

〈男子二部〉

▼1回戦

東京重機 33－14 富士電機

コスモ石油 40－15 美津濃

関東自動車 棄権 東電千葉

日本発条 38－20 日産石油化学

三井石油化学 36－31 日進商会

出光千葉 28－13 日本原子力研究所

▼2回戦

東京重機 34－29 陸自久里浜

コスモ石油 27－19 関東自動車

日本発条 43－28 三井石油化学

出光千葉 35－31 海自下総

▼準決勝

東京重機 39－24 コスモ石油

日本発条 40－20 出光千葉

▼決勝

日本発条 30（15－7、15－9）16 東京重機

第40回千葉県民大会

（10月3、4日／東邦大付属東邦高校、泉高校）

〈男子〉

▼1回戦

流山市 33－26 木更津市

柏市 28－25 八千代市

習志野市 33－15 船橋市

佐原市 12－0 君津郡

松戸市 24－18 印旛郡

市原市 39－28 君津市

東葛飾郡 37－31 千葉市

▼準々決勝

市川市 40－25 流山市

柏市 25－24 習志野市

松戸市 27－25 佐原市

市原市 39－25 東葛飾郡

▼準決勝

柏市 30－29 市川市

松戸市 30－27 市原市

▼決勝

柏市 35（14―12、21―8）20 流山市

〈女子〉
▼1回戦
柏市 21―14 流山市
習志野市 23―6 佐原市
▼準決勝
千葉市 13―9 柏市
市川市 27―15 習志野市
▼決勝
市川市 32（12―5、20―6）11 千葉市

千葉県大学秋季選手権

（10月31、11月3、7日、順天堂大）
▼1回戦
国際武道大 42―18 東京理科大
順天堂大 45―18 千葉大
▼3位決定戦
東京理科大 30―29 千葉大
▼決勝
順天堂大 27（10―12、17―13）25 国際武道大

東京都中学校秋季新人大会

（11月1、3、7、8日／大島中、第三大島中）
〈男子〉
▼1回戦
東大和一 23―11 雪谷
多摩 19―17 深川八
国立一 38―6 松江五
大島 23―15 学大小金井
立川二 10―9 安方
三沢 13―12 西宮
上祖師谷 16―13 椚田
桜木 22―9 立川六
高井戸 28―4 小金井一
陵南 18―17 瀬田
第三大島 19―4 武蔵野一
府中二 22―12 本所
小岩五 17―7 和田
開成 15―10 本町田
宮前 15―14 秋川東
大崎 36―20 小平四
目黒四 16―6 町田二
府中四 24―14 中野中央
▼2回戦
東大和一 19―13 足立十五
国立一 35―9 上水
向島 25―10 立川二
上祖師谷 24―23 浅川
高井戸 16―11 武蔵村山一
国分寺一 21―20 第三大島
宮前 19―9 小岩五
大崎 28―9 亀戸
目黒四 16―6 五日市
深川三 ― 府中四
多摩 24―12 国立三
大島 23―11 大久保
国分寺五 24―14 三沢
桜木 37―1 杉森
陵南 28―17 府中二
開成 20―11 花小金井南
▼3回戦
国立一 22―9 東大和一
向島 18―6 上祖師谷
高井戸 15―5 国分寺一
大崎 23―14 宮前
目黒四 17―11 深川三
大島 15―9 多摩
桜木 26―8 国分寺五
陵南 16―12 開成
▼4回戦
国立一 29―7 向島
大崎 19―3 高井戸
大島 16―10 目黒四
桜木 30―12 陵南
▼準決勝
国立一 17―9 大崎
桜木 17―14 大島
▼決勝
国立一 24―7 桜木

〈女子〉
▼1回戦
浅間 16―4 常盤
宮前 13―11 横川
日野二 8―6 雪谷
立川七 21―2 立教女学院
辰己 34―3 府中四
上祖師谷 12―9 多摩四
武蔵野一 24―4 町田二
大島 8―6 多摩
中野中央 12―9 小金井一
国立三 13―12 西宮
立川六 15―13 深川八
▼2回戦
桜木 22―6 浅間
宮前 10―6 日野二
辰己 14―12 立川七
高井戸 12―6 上祖師谷
武蔵野一 13―8 大崎
大島 22―0 杉森
国立三 10―7 中野中央
立川六 25―7 桐明女子
▼3回戦
桜木 16―1 宮前
高井戸 13―11 辰己
大島 26―4 武蔵野一
立川六 31―10 国立三
▼準決勝
桜木 13―10 高井戸
大島 20―10 立川六
▼決勝
桜木 11―7 大島

埼玉県中学校大会

（11月21、22日／大久保中学）
〈男子〉
▼1回戦
所沢南陵 11―9 吉川南
▼2回戦
所沢南陵 18―17 中野
榛松 16―13 松山
朝霞五 27―11 大袋
上大久保 20―15 狭山中央
蓮田 53―0 北本西
喜沢 33―4 見沼
谷原 13―8 田島
富士見西 17―15 富士見本郷
▼3回戦
榛松 17―15 所沢南陵
朝霞五 27―6 上大久保
蓮田 23―15 喜沢
富士見西 20―11 谷原
▼準決勝
朝霞五 16―11 榛松
蓮田 22―16 富士見西
▼決勝
朝霞五 14―12 蓮田
※朝霞五は初優勝。

〈女子〉
▼1回戦

松松 17-12 春日部東
大袋 35-10 三郷前川
三郷栄 10-6 春日部

▼2回戦

松松 13-12 新座三
戸塚 7-4 川口幸並
吉川中央 17-3 十二月田
八潮 31-6 羽生西
大久保 20-5 大袋
八潮四 25-14 芝
八潮三 27-5 北本西
榛松 17-2 三郷栄

▼3回戦

松松 12-6 戸塚
吉川中央 11-2 八潮
大久保 16-10 八潮四
榛松 12-8 八潮三

▼準決勝

吉川中央 16-3 松松
榛松 8-5 大久保

▼決勝

榛松 8-4 吉川中央

※榛松は初優勝。

第14回千葉県総合選手権

（11月1日、三井石油化学体育館、出光千葉体育館）

〈男子〉

▼1回戦

千葉教員 29-12 あさひク
若松高A 13-12 市原高
国際武道大B 24-11 泉高A
我孫子OB 19-16 木更津高
三井石油化学 30-19 市松倶楽部
東京学館高 22-21 流山中央ク
若松ク 15-14 国際武道大D
コスモ石油 33-12 小金高A
市川FOG 26-17 海上自衛隊下総
国際武道大A 28-20 小金ク
若松高B 33-14 泉高B
若潮ク 17-15 出光千葉
我孫子高 27-21 日産石油化学
市川高 40-2 小金高B
佐原高 22-12 沼南高
若潮ナッツ 27-14 国際武道大C

▼2回戦

千葉教員 45-17 若松高A
国際武道大B 29-11 我孫子OB
東京学館高 35-29 三井石油化学
コスモ石油 28-27 若松ク
国際武道大A 25-21 市川FOG
若潮ク 30-25 若松高B
市川高 38-13 我孫子高
若潮ナッツ 31-17 佐原高

▼準々決勝

千葉教員 27-15 国際武道大B
コスモ石油 34-24 東京学館高
国際武道大A 29-21 若潮ク
市川高 37-23 若潮ナッツ

▼準決勝

千葉教員 46-25 コスモ石油
市川高 22-17 国際武道大A

▼決勝

千葉教員 28（15-9, 13-11）20 市川高

〈女子〉

▼予選リーグ

○A組

千葉ク 29-7 御宿家政高
千葉ク 棄権 朝顔ク
御宿家政高 棄権 朝顔ク

○B組

国際武道大 10-8 佐原高
佐原女高 14-12 国際武道大
佐原女高 20-14 佐原高

○C組

千葉明徳短大 38-0 若松高
千葉明徳短大 34-10 流山中央高
流山中央高 19-8 若松高

▼決勝リーグ

千葉明徳短大 14-9 千葉ク
千葉ク 13-9 佐原女高
千葉明徳短大 33-5 佐原女高

〔順位〕①千葉明徳短期大学②千葉クラブ③佐原女子高

北陸

富山県秋季選手権

（11月23、29日／富山市体育館他）

〈男子〉

▼1回戦

氷見ク 34-15 北嶺会
教員B 棄権 射水ク
想球会 32-25 富山大
教員A 34-21 西部ク

▼2回戦

氷見ク 34-21 教員B
教員A 34-28 想球会

▼決勝

教員A 27（15-14, 12-12）26 氷見ク

〈女子〉

▼1回戦

有磯OG 30-14 富山大
桜球会 20-10 想球会

▼決勝

有磯OG 38（19-9, 19-6）15 桜球会

福井県高校新人大会

（11月14〜16日／羽水高校）

〈男子〉

▼1回戦

武生東 20-14 科技
藤島 19-9 武生
勝山 22-20 福井商

▼2回戦

北陸 49-4 武生東
羽水 25-19 丹南
高志 21-15 藤島
金津 37-21 勝山

▼準決勝

北陸 31-8 羽水
高志 28-20 金津

▼決勝

北陸 20（14-6, 6-8）14 高志

〈女子〉

▼1回戦

武生商 20-9 福井農
科技 19-14 福井女

▼2回戦

福井商 31-2 武生商
高志 17-13 藤島
羽水 25-5 勝山
仁愛 25-9 科技

▼準決勝

福井商 29-4 高志
仁愛 18-12 羽水

▼決勝

福井商 14（7－5、7－5）10 伝愛

東海

静岡県高校選手権

（9月15、20、23日／静岡農高体育館）

〈男子〉

▼1回戦
御殿場 18－14 気賀
星陵 29－19 静清工
浜松城北工 31－5 修善工
小山 34－23 静岡南
清水東 49－3 吉原商
土肥 20－13 森
浜松湖東 29－5 静岡工
沼津工 26－17 静岡西
伊豆中央 45－10 天竜林
富士 12－10 静岡東

▼2回戦
静岡農 39－3 御殿場
浜松城北工 23－13 星陵
小山 28－18 二俣
沼津東 18－12 清水東
清水商 31－16 土肥
御殿場南 14－7 浜松湖東
伊豆中央 27－16 沼津工
浜松南 18－7 富士

▼3回戦
静岡農 20－13 浜松城北工
沼津東 22－18 小山
清水商 31－16 御殿場南
浜松南 21－16 伊豆中央

▼準決勝
静岡農 28－16 沼津東
浜松南 18－13 清水商

▼決勝
静岡農 24（13－7、11－8）15 浜松南

〈女子〉

▼1回戦
浜松南 23－7 富士東

▼2回戦
清水西 31－2 浜松南
静岡農 17－5 土肥
清水商 13－4 富士宮東
気賀 7－6 小山
富士見 14－1 二俣
藤枝西 13－9 御殿場
清水東 14－4 加藤学園
静岡城北 16－4 吉原

▼3回戦
清水西 18－8 静岡農
清水商 12－10 気賀
富士見 19－6 藤枝西
静岡城北 15－6 清水東

▼準決勝
清水西 30－8 清水商
静岡城北 15－6 清水東

▼決勝
清水西 19（13－3、6－5）8 静岡城北

第38回三重県総合選手権

（9月6、20、27日／津東高）

〈男子〉

▼1回戦
四日市中央工 15－10 津工B
全三重教員 26－17 尾鷲クラブ
津東高A 29－3 上野工A
半田クラブ 27－12 桑名北高クラブ
亀山高B 32－9 上野工B
海星高B 22－18 鳥羽商船B
津西高 16－15 亀山高A
四日市南高 13－8 津高A

▼2回戦
四日市南高OB 14－13 四日市四郷高
桑名工クラブ 20－14 亀山クラブ
四日市高B 17－13 桑名西高
むつみヶ丘クラブ 棄権 三菱油化
九華クラブ 20－8 津高B
津東高B 16－4 川越高
四日市西高 21－7 桑名工
桑名高 15－6 桑名北高
四高八陵星 22－12 海星高A
津東高C 22－9 名張西高
三重大A 15－13 尾鷲軍団
鵜ノ森クラブ 17－16 四日市高A
西笹クラブ 32－9 尾鷲高
四工B 19－9 鳥羽商船A
津東高A 26－4 高田高
三重大B 16－8 桜クラブ
三重教員 27－13 桑名西高クラブ
本田クラブ 38－11 四日市中央工
海星高B 22－18 津工A
四日市南高 13－8 鈴鹿高専B
亀山高B 16－12 鈴鹿高専A
本田爽風会 42－6 半田クラブ
全三重教員 棄権 四日市中央工クラブ

▼3回戦
本田クラブ 棄権 四日市南高OB
全三重教員 36－14 桑名工クラブ
津東高A 9－7 四日市西高
桑名高 棄権 四高八陵星
本田爽風会 22－7 四日市高B
亀山高B 棄権 むつみヶ丘クラブ
海星高 16－13 津東高C
鵜ノ森クラブ 21－15 三重大学A
四工A 23－20 三重教員
九華クラブ 23－9 津東高B
西笹クラブ 17－15 四日市南高
四工B 棄権 三重大学B

▼4回戦
本田クラブ 34－23 全三重教員
桑名高 28－8 津東高A
本田爽風会 44－7 亀山高B
鵜ノ森クラブ 28－18 海星高B
四工A 23－5 九華クラブ
四工B 21－12 西笹クラブ

▼5回戦
本田クラブ 30－23 桑名高
本田爽風会 30－5 鵜ノ森クラブ
四工B 18－14 四工A

▼準決勝
本田クラブ 19－16 本田爽風会
本田技研 45－8 四工B

▼決勝
本田技研 42（20－9、22－4）13 本田クラブ

〈女子〉

▼1回戦
四商OGB 19－5 津高
四商OGB 17－8 四日市四郷高
四日市南高OG 16－9 尾鷲クラブ
川越高 8－6 亀山高B
亀山クラブB 20－19 桑名高クラブ

▼2回戦
暁高 31－4 四商OGB
三重大 17－13 尾鷲高
四商B 21－13 暁高OG
亀山高A 17－16 四商OGA
四日市南高OG 16－12 上野高OG
津東高B 26－4 津西高
桜クラブ 9－8 四日市高
むつみヶ丘クラブ 11－6 亀山クラブA
川越高 12－9 四日市南高
四日市西高 14－10 名張西高
津東高A 17－6 上野高
亀山クラブB 15－14 四商A

▼3回戦
暁高 棄権 三重大学
四商B 21－2 亀山高A
津東高B 棄権 四日市南高OG
むつみヶ丘クラブ 12－7 桜クラブ
四日市西高 9－7 川越高
津東高A 棄権 亀山クラブB

▼4回戦
暁高 11－3 四商B
むつみヶ丘クラブ 24－15 津東高B
四日市西高 8－3 津東高A

▼準決勝
ジャスコ 30－4 四日市西高
暁高 29－5 むつみヶ丘ク

▼決勝
ジャスコ 34（15－4、19－2）6 暁高

近畿

第40回奈良県高校総体

（9月20、23日／添上高校）

〈男子〉

○Aゾーン

▼1回戦
片桐 12－5 富雄

▼2回戦
畝傍 12－3 片桐

添上 22－6 奈良工
正強 14－9 橿原
斑鳩 18－14 一条

▼準決勝
添上 20－10 畝傍
正強 26－13 斑鳩

▼決勝
添上 13（7－3、6－8）11 正強

○Bゾーン

▼1回戦
郡山 11－10 高田東
天理 16－14 上牧
奈良 16－10 東大寺
生駒 26－12 広陵

▼準決勝
天理 16－12 郡山
奈良 16－15 生駒

▼決勝
奈良 25（17－5、8－9）14 天理

〈女子〉

○Aゾーン

▼1回戦
添上 14－5 片桐

▼準決勝
添上 22－2 一条
生駒 10－4 上牧

▼決勝
添上 10（4－6、6－3）9 生駒

○Bゾーン

▼1回戦
短大付 20－7 郡山
白藤 14－9 富雄

▼決勝
白藤 14（8－1、6－4）5 短大付

第34回滋賀県中学校秋季大会

（10月15、16日／多賀中学）

〈男子〉

▼予選リーグ

○A組
愛知 7－4 高島
野洲北 24－5 愛知
野洲北 24－4 高島

○B組
八幡東 14－6 彦根南
鳥居本 26－6 彦根南
鳥居本 29－6 八幡東

○C組
八幡西 17－8 中央
安曇川 12－9 八幡西
安曇川 16－9 中央

○D組
八幡 15－14 野洲
守山南 14－10 八幡
守山南 18－5 野洲

▼準決勝
鳥居本 19－8 安曇川
野洲北 14－9 守山南

▼決勝
野洲北 26（8－9、13－12、3－3、2－1）25 鳥居本

〈女子〉

▼予選リーグ

○あ組
彦根西 15－7 中央
多賀 23－6 中央
多賀 25－8 彦根西

○い組
安曇川 18－4 鳥居本
甲良 28－4 鳥居本
甲良 19－11 安曇川

○う組
能登川 10－5 安土
稲枝 18－8 安土
稲枝 11－11 能登川

▼決勝リーグ
甲良 13（8－7、5－5）12 稲枝
多賀 29（13－6、16－3）9 稲枝
多賀 21（11－7、10－13）20 甲良

〔順位〕①多賀②甲良③稲枝

滋賀県秋季社会人大会

（10月18日／野洲高校）

〈男子〉

▼1回戦
京セラ 30－10 守山ク
八幡ク 23－18 ハンダース
高島ク 20－15 芹汀会ク

▼2回戦
滋賀教員 29－21 京セラ
八幡ク 32－17 高島ク

▼決勝
滋賀教員 29－14 八幡ク

〈女子〉

▼決勝
滋賀ク 17－15 松下ク

和歌山県秋季選手権

（11月1、3日／岩出中学）

〈一般男子〉

▼1回戦
市和商高 24－9 打田ク
粉河高 35－8 県和商高
和歌山ク 23－18 御坊商工B
桐蔭高 25－24 箕島高
御坊商工A 25－12 貴志川高
近大附高 27－25 耐久高
和歌山高専 12－0 和東高

▼2回戦
御坊ク 24－16 市和商高
海南高 12－0 桐蔭ク
箕島ク 50－40 粉河高
那賀高 29－12 和歌山ク
桐蔭高 30－21 笠田高
金清ク 23－22 御坊商工A
近大附高 12－0 和医大
県和商ク 22－14 和歌山高専

▼3回戦
御坊ク 46－20 海南高
那賀高 26－19 箕島ク
金清ク 40－27 桐蔭高
県和商ク 36－22 近大附高

▼準決勝
御坊ク 20－13 那賀高
県和商ク 36－22 金清ク

▼決勝
県和商ク 20（12－7、8－9）16 御坊ク

〈一般女子〉

▼1回戦
貴志川高 11－4 箕島高

▼2回戦

粉河高A 42－8 貴志川高
御坊商工高 19－13 県和商高A
笠田高 18－11 県和商高B
那賀高 15－11 粉河高B

▼準決勝
粉河高A 40－10 御坊商工高
那賀高 12－4 笠田高

▼決勝
粉河高A 38（20－4、18－6）10 那賀高

〈小学生の部〉

▼決勝
和歌山市ハンド教室A 14（6－1、8－2）3 和歌山市ハンド教室B

〈中学男子〉

▼1回戦
貴志川 23－6 近大附
岩出 25－9 紀伊

▼2回戦
貴志川 19－15 岩出第二
打田 15－13 湯浅
那賀 18－15 白馬
岩出 31－17 金屋

▼準決勝
貴志川 23－6 打田
岩出 15－8 那賀

▼決勝
貴志川 11（4－4、7－2）6 岩出

〈中学女子〉

▼1回戦
貴志川 14－13 金屋
岩出第二 19－7 打田
岩出 35－11 那賀
桃山 35－1 粉河

▼準決勝
岩出第二 15－11 貴志川
岩出 13－6 桃山

▼決勝
岩出 13（10－3、3－6）9 岩出第二

第39回大阪府高校新人大会

〈男子〉

○北地区予選

▼1回戦
市岡 17－15 北千里
南淀川 30－7 豊島
千里 16－14 東豊中
桜塚 38－11 大阪学院
箕面 21－10 柴島
西野田工 33－10 追手門
西淀川 25－16 山田
桜宮 26－3 渋谷

▼2回戦
北陽 32－8 市岡
東淀川 37－9 北淀
北野 15－14 千里
都島工 17－14 桜塚
豊中 28－10 箕面
西野田工 14－12 池田
刀根山 26－9 西淀川
大阪商 12－10 桜宮

▼3回戦
北陽 26－17 東淀川
都島工 27－20 北野
豊中 24－10 西野田工
大阪商 28－12 刀根山

▼準決勝
北陽 20－14 都島工
豊中 16－9 大阪商

▼3位決定戦
大阪商 17－6 都島工

▼決勝
北陽 18－14 豊中

○南地区予選

▼1回戦
泉北 19－14 長野
上神谷 23－6 和泉工
登美丘 37－4 堺西
信太 46－7 堺工
貝塚南 47－9 泉鳥取
久米田 37－21 商大堺
富田林 19－17 鳳
泉大津 21－11 泉陽

▼2回戦
初芝 42－9 泉北
上神谷 21－13 和泉
登美丘 23－14 堺東
高石 12－11 信太
三国丘 24－14 貝塚南
久米田 31－12 堺工
富田林 24－12 岸和田産
泉大津 18－14 浪商熊取

▼3回戦
初芝 35－8 上神谷
登美丘 13－13 高石（3PTC2）
三国丘 29－10 久米田
富田林 14－13 泉大津

▼準決勝
初芝 21－5 登美丘
三国丘 23－10 富田林

▼決勝
三国丘 17－17 初芝（2PTC1）

○東地区予選

▼1回戦
三島 27－10 南寝屋川
枚方 22－8 茨木工
大東 21－8 鳥飼
寝屋川 33－6 交野
西寝屋川 26－8 牧野
門真南 29－5 芥川
加納 18－16 茨木
浪商 28－9 門真
長尾 17－6 守口北
島上 40－5 食品産業
淀川工 24－10 高槻北
関西大倉 21－7 磯島
摂陵 16－8 四条畷
島上大冠 24－7 島本
春日丘 棄権 城東工
摂津 20－7 同志社香里

▼2回戦
三島 22－12 枚方
寝屋川 17－7 大東
門真南 25－14 西寝屋川
浪商 17－7 加納
長尾 17－12 島上
淀川工 17－12 摂津
関西大倉 20－14 摂陵
春日丘 35－7 島上大冠

▼3回戦
寝屋川 20－14 三島
門真南 14－13 浪商
長尾 11－6 淀川工
春日丘 33－9 関西大倉

▼準決勝
寝屋川 20－17 門真南
長尾 18－13 春日丘

▼3位決定戦
春日丘 26－12 門真南

▼決勝
寝屋川 14－14 長尾（1PTC0）

○中地区予選

▼1回戦
清風 27－10 柏原
八尾 27－9 大商大附
住吉 12－11 藤井寺
阪南 21－15 阿倍野
大教大平野 24－18 花園
羽曳野 32－14 山本
藤井寺工 棄権 池島
東住吉 22－6 勝山
東住吉工 18－14 八尾東
生野 32－9 汎愛

▼2回戦
桃山 25－8 清風
八尾 33－6 玉川
阪南 19－13 住吉
天王寺 14－13 大教大平野
上宮 50－9 羽曳野
藤井寺工 19－11 東住吉
高津 23－15 東住吉工
此花 40－14 生野

▼3回戦
桃山 25－15 八尾
天王寺 24－8 阪南
上宮 58－7 藤井寺工
此花 34－11 高津

▼準決勝
桃山 27－11 天王寺
此花 20－19 上宮

▼3位決定戦
上宮 29－18 天王寺

▼決勝
此花 21－15 桃山

○中央大会

▼1回戦
寝屋川 20－15 天王寺
豊中 22－13 登美丘
此花 42－11 富田林
大商 21－14 長屋
北陽 30－17 門真南
初芝 22－19 上宮
三国丘 27－11 都島工
桃山 28－15 春日丘

▼2回戦
初芝 29－16 北陽
桃山 34－18 三国丘
豊中 27－11 寝屋川
此花 28－12 大商

▼準決勝
桃山 23－11 初芝
此花 15－11 豊中

▼決勝
桃山 17（6－8、11－8）16 此花

※桃山は5年ぶり3回目の優勝。

〈女子〉

○北地区予戦

▼1回戦
北野 11－10 千里
豊島 25－12 薫英
東淀川 9－4 少路
成蹊 15－6 扇町
豊中 19－13 東豊中

▼3回戦
宣真 21－8 豊島
金蘭会 24－4 梅光
福島女 14－14 刀根山（2PTC1）

▼準決勝
桜宮 23－8 池田

宣真 31－6 金蘭会
福島女 10－8 桜宮

▼3位決定戦
桜宮 12－9 金蘭会

▼決勝
宣真 21－11 福島女

○南地区予選

▼1回戦
佐野 19－11 泉大津

▼2回戦
初芝 26－16 佐野
貝塚南 10－6 岸和田
三国丘 17－6 高石
東鳥取 28－18 富田林
堺東 13－11 和泉
久米田 31－8 長野
岸和田産 16－11 鳳
住吉学園 15－10 東百舌鳥

▼2回戦
初芝 38－2 貝塚南
泉鳥取 17－17 三国丘（2PTC1）
堺東 12－6 久米田
住吉学園 16－12 岸和田産

▼準決勝
初芝 28－5 泉鳥取
住吉学園 17－6 堺東

▼3位決定戦
堺東 12－10 泉鳥取

▼決勝
初芝 17－6 住吉学園

○東地区予選

▼1回戦
島上 28－6 島上大冠
守口北 7－1 大東
西寝屋川 27－4 長尾

▼2回戦
香里丘 28－3 島上
春日丘 25－10 茨木
大阪市立 13－9 門真
枚方 5－3 守口北
寝屋川 32－0 磯島
牧野 27－8 高槻北
交野 12－9 門真南
西寝屋川 14－3 摂津

▼3回戦
香里丘 27－9 春日丘
枚方 12－10 大阪市立
寝屋川 46－3 牧野
西寝屋川 47－2 交野

▼準決勝
香里丘 16－6 枚方
寝屋川 17－6 西寝屋川

▼3位決定戦
西寝屋川 23－1 枚方

▼決勝
寝屋川 17－9 香里丘

○中地区予選

▼1回戦
天王寺 9－7 八尾東
阪南 26－5 信愛
四天王寺 32－3 天王寺
藤井寺 14－12 池島
住吉 17－5 八尾
大谷 63－2 東大阪
城南 14－7 高津
生野 棄権 山本
大和川 9－8 東住吉

▼2回戦
阪南 24－5 鶴見商
四天王寺 57－1 藤井寺
大谷 20－8 住吉

▼準決勝
城南 24－5 生野
阪南 20－8 城南
四天王寺 22－10 大谷

▼3位決定戦
大谷 23－5 城南

▼決勝
四天王寺 15－8 阪南

○中央大会

▼1回戦
宣真 40－6 泉鳥取
大谷 16－11 香里丘
寝屋川 16－6 城南
福島女 34－2 堺東
四天王寺 14－11 枚方
桜宮 15－14 住吉学園
初芝 15－8 金蘭会
阪南 14－11 西寝屋川

▼2回戦
四天王寺 14－4 桜宮
初芝 13－11 阪南
宣真 28－12 大谷
寝屋川 14－11 福島女

▼準決勝
四天王寺 21－6 初芝
宣真 13－6 寝屋川

▼決勝
宣真 11（4－4、7－4）8 四天王寺

※宣真は2年ぶり2回目の優勝。

山口県体育大会

（11月7、8日／山口県体育館）

〈男子〉

▼1回戦

興亜石油 32—26 豆子郎ク

下松ク 両者棄権 三井石油

▼2回戦

山口県教員団A 30—13 興亜石油

岩国ク 26—21 徳山大

山口県教員団B 40—27 徳山ク

下関ク 両者棄権で不戦勝

▼準決勝

山口県教員団A 30—15 岩国ク

下関ク 34—24 山口県教員団B

▼決勝

山口県教員団A 29（15—12, 14—10）22 下関ク

〈女子〉

▼リーグ戦

徳山ク 20—17 周南ク

CGC 25—10 周南ク

徳山ク 16—13 CGC

〔順位〕①徳山ク②CGC③周南ク

第42回岡山県高校新人大会

（11月7、8、14日／倉敷天城高、総社高）

〈男子〉

▼1回戦

邑久 20—11 児島第一

津山工 13—12 大安寺

岡山工 24—5 玉野

倉敷南 18—14 津山

操山 27—11 落合

倉敷商 22—8 芳泉

吉備 23—15 西大寺

総社 21—12 古城池

水島工 13—12 青陵

倉敷工 21—5 関西

一宮 20—16 総社南

児島 15—12 朝日

玉野光南 26—7 金川

矢掛 14—13 福渡

東岡工 19—10 備前東

▼2回戦

天城 30—9 邑久

岡山工 26—9 津山工

倉敷南 11—11 操山（5PTC4）

吉備 18—15 倉敷商

総社 18—10 水島工

倉敷工 21—7 一宮

玉野光南 17—13 児島

東岡工 32—8 矢掛

▼3回戦

岡山工 16—15 天城

吉備 20—17 倉敷南

総社 13—10 倉敷工

玉野光南 24—16 東岡工

▼準決勝

岡山工 14—13 吉備

総社 18—12 玉野光南

▼決勝

総社 12（5—5, 7—5）10 岡山工

〈女子〉

▼1回戦

倉敷南 18—14 津山東

古城池 11—9 天城

操山 14—10 大安寺

一宮 10—8 青陵

総社 12—0 児島第一

落合 21—9 玉野

真備 19—5 朝日

芳泉 28—3 津山商

金川 22—6 総社南

▼2回戦

西大寺 18—3 倉敷南

古城池 11—7 操山

一宮 7—7 津山（3PTC2）

倉敷商 4—4 総社（2PTC1）

玉野光南 28—1 落合

真備 16—7 倉敷中央

備前東 16—7 芳泉

児島 27—6 金川

▼3回戦

西大寺 21—5 古城池

倉敷商 20—5 一宮

玉野光南 19—7 真備

児島 11—10 備前東

▼準決勝

西大寺 15—5 倉敷商

玉野光南 21—18 児島

▼決勝

玉野光南 22（9—4, 13—5）9 西大寺

九州

第39回長崎県民体育大会

（11月8日／佐世保西高）

〈男子〉

▼1回戦

佐世保 33—13 大村

長崎 29—18 諫早

▼決勝

佐世保 33（18—10, 15—15）25 長野

〈女子〉

▼1回戦

佐世保 29—3 島原

諫早 37—11 長崎

▼決勝

諫早 29（15—11, 14—9）20 佐世保

長崎県中学新人大会

（11月8日／佐世保西高）

〈男子〉

▼1回戦

相浦中 12—11 時津中

大瀬戸中 31—13 大野中

▼決勝

大瀬戸中 19（12—3, 7—6）9 相浦中

〈女子〉

▼1回戦

大瀬戸中 19—11 大野中

柚木中 24—7 清水中

▼決勝

柚木中 19（10—6, 9—9）15 大瀬戸中

佐賀県中学校新人大会

（11月8日／神埼農高）

〈男子〉

▼決勝

神埼 15（7—3, 8—8）11 多久中央

〈女子〉

▼決勝

神埼 13（4—2, 9—6）8 多久中央

第5回鹿児島小学生大会

（11月8日／鹿児島大学付属中）

▼予選リーグ

寿A 17—1 坂元B

坂元A 4—2 寿B

大泊 14—5 坂元A

寿B 4—2 坂元B

大泊 16—10 寿A

▼3位決定戦

坂元 13—2 寿B

▼決勝

大泊 10（7—4, 3—5）9 寿A

日本協会だより

11月度常務理事会議事録

日　時　昭和62年11月21日
場　所　日本協会事務室
出席者　安藤専務理事、滝口、川上、大野、伊藤、北川、阿部、大塚、西村、塩川、事務局　関口　斎藤

議　題

1．スポーツフェアー（招待チーム）について。
＊西独招待については、先方より日程の都合が付かず、来日は不可能との連絡が有った。
＊現在、アイスランドに交渉中である。
＊出来れば他2試合は名古屋、京都と予定している。

2．イタリア（インテラムニア）来日布望について。
＊毎年女子のJrが参加しているので、以前より来日の希望が有ったが、正式な文書が入った。主な内容は、昭和63年12月27日～昭和64年1月5日まで、選手役員計50名、宿泊費、国内移動費は日本協会負担。
＊諸般事情を勘案し、1チームであれば20～25名ということで、昭和64年3月下旬～4月初旬の日程で受諾せざるを得ないとの結論に達した。

3．日本スポーツ賞（読売新聞社）の選考について。
＊男子ナショナルチームに決定。

4．日本リーグ競技規則について。
＊何人かの理事より、日本リーグ競技規則についての意見が出されたが、それぞれの意向もわからないことではないが、今またルール問題を云々することは混乱を招くことになるし、日本協会の基本的な姿勢に関わる問題でもあるので、このことに関する要望は受け入れることは出来ない、との結論に達した。
＊各担当よりこのことを伝達し理解を得ることとした。

5．昭和63年度事業計画について。
＊一般会計の収入は残念ながら前年度より減少する予定である。

6．50周年誌販売について。
＊引き受け部数の少ない都道府県協会に対して、国民大会の折あるいは電話連絡によって一層の協力を依頼している。
＊図書館関係は種々の問題が有るものの現在条件を詰めているところである。尚、関係団体には一層の協力をお願いしたい。

7．AHF実行委員会について。
＊組織、大会委員会。レフェリー委員会。委員の推薦について。
＊組織、大会委員会は安藤専務理事、レフェリー委員会は大塚常務理事をそれ推薦する事とした。

8．AHFコーチ、レフェリー講習会について。
＊まことに残念であるが、目下の情勢では開催することは非常に困難である。

9．第1回アジアJrハンドボール選手権大会について。
＊1988年シリアで開催される。出場資格は1970年以後出生した者。

10．1988年男子第5回、女子第2回アジアハンドボール選手権大会について。
＊開催地の立候補依頼状が来た。
＊費用の積算をする（企画担当）
1991年には立候補したい。
◎尚、議題7～10については国際担当がアジア連盟に連絡する。

11．オリンピック応援団について。
＊出来るかぎり早く予定を立て、募集したい。

12．世界Jr女子選手権、遠征報告。
＊身長、体力の壁はあまりにも大きかった。
＊ソ連では180cm以上の選手を2名は入れることにしている。
＊Jrチームの育成について考えたい。

13．第42回国民体育大会、報告。

14．その他。
＊68年香川、高知国体のハンドボール競技は、高松市、綾上町、香川町で開催される。
＊世界選手権女子Bについてはブルガリアより問い合わせが有ったが日本は正式に欠場を決定している。

12月度常務理事会議事録

日　時　昭和62年12月12日（土）14：30～
場　所　日本協会事務室
出席者　安藤、川上、大野、伊藤、北川、阿部、大塚、西村、塩川　　事務局

議　題

1．昭和63年度事業計画並びに予算案について
各担当理事から提出された計画案について検討をおこなった。
予算面並びに細部事項について、なお検討を続行していく。
事業計画日程表（原案）について検討。

2．その他
強化関係、国際関係についての連絡事項他確認がなされた。

「日本ハンドボール史」購入の申し込みをお早めに

みなさますでに御承知のように、日本ハンドボール協会創立50周年を記念しての「日本ハンドボール史」が、今春無事完成致しました。

この冊子は、右の内容を御覧いただいてもわかりますように、日本ハンドボール界の50年の歩みを余す所なく御紹介するとともに、これまで埋もれていた様々なエピソードを紹介し、記録としても、読物としても大変興味深いものとなっております。

これまで日本ハンドボール界のために尽くしてこられた方々にも、また、今後日本ハンドボール界を背負っていただく方々にも、是非御一読いただきたいと思います。

〔「日本ハンドボール史」の主な内容〕

〔体裁〕 B5判　880頁　ケース入り

〔主な内容〕

- 日本ハンドボール50年の歩み
- 47都道府県協会史
- 全国連盟・団体の歩み
- ハンドボール史を彩るエピソード
- 全国大会の記録をすべて
- 海外の主要な大会（オリンピック、世界選手権、アジア大会など）の記録

〔定価〕　7000円

※次第に残り部数が少なくなってきておりますので、御希望の方は、なるべく早めに下記宛お申し込み下さい。

〒150東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内
㈶日本ハンドボール協会
「日本ハンドボール史」係
TEL　03-481-2361

高度なスカイプレーが変幻自在。
スカイハンド®スペシャル（THH705）
●カラー　ホワイト×レッド・レッド×ホワイト・ロイヤルブルー×ホワイト
●サイズ　22.5～28.0cm
●アッパー　ステア表革(ホワイト×レッド)
牛革ベロア(レッド×ホワイト、ロイヤルブルー×ホワイト)
標準小売価格 ¥13,000
asics TIGER
襲う。
ストップ&ジャンプ性能を徹底追求したシューズ、〈スカイハンド®スペシャル〉。つま先からかかとまで衝撃吸収性に富む超軽量スポンジE・V・A・を内蔵したカップソールが、素晴しい軽さ、ソフトな着地感、ストップ性を獲得しました。アクロバチックなスカイプレイを繰り広げながら、ヒッチコックの「鳥」のような圧倒的迫力でゴールを襲うハンドボーラーに捧げます。
株式会社 アシックス

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二七〇号
昭和四十年六[illegible] 第三種郵便物認可
昭和六十三年一月二十五日 印刷
昭和六十三年二月一日 発行
東京都[illegible]神南一ー一ー一
電話 代（[illegible]481）二三六一
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
（年間購読料三千三百円）